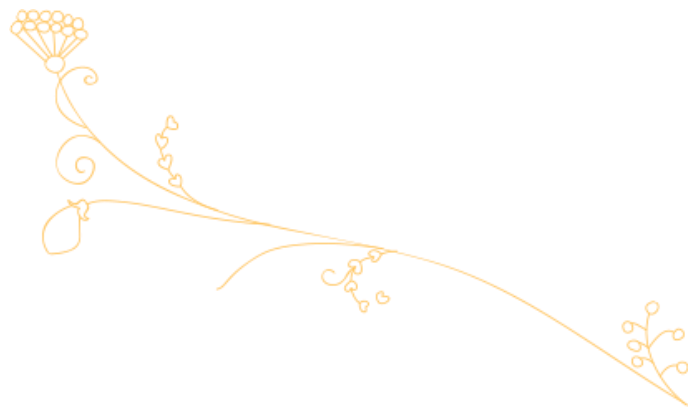




2021年12月期第2四半期 決算説明資料

2021年8月
株式会社セレス（東証第一部：3696）





1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概要
4. APPENDIX



1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

モバイルから生活を豊かに

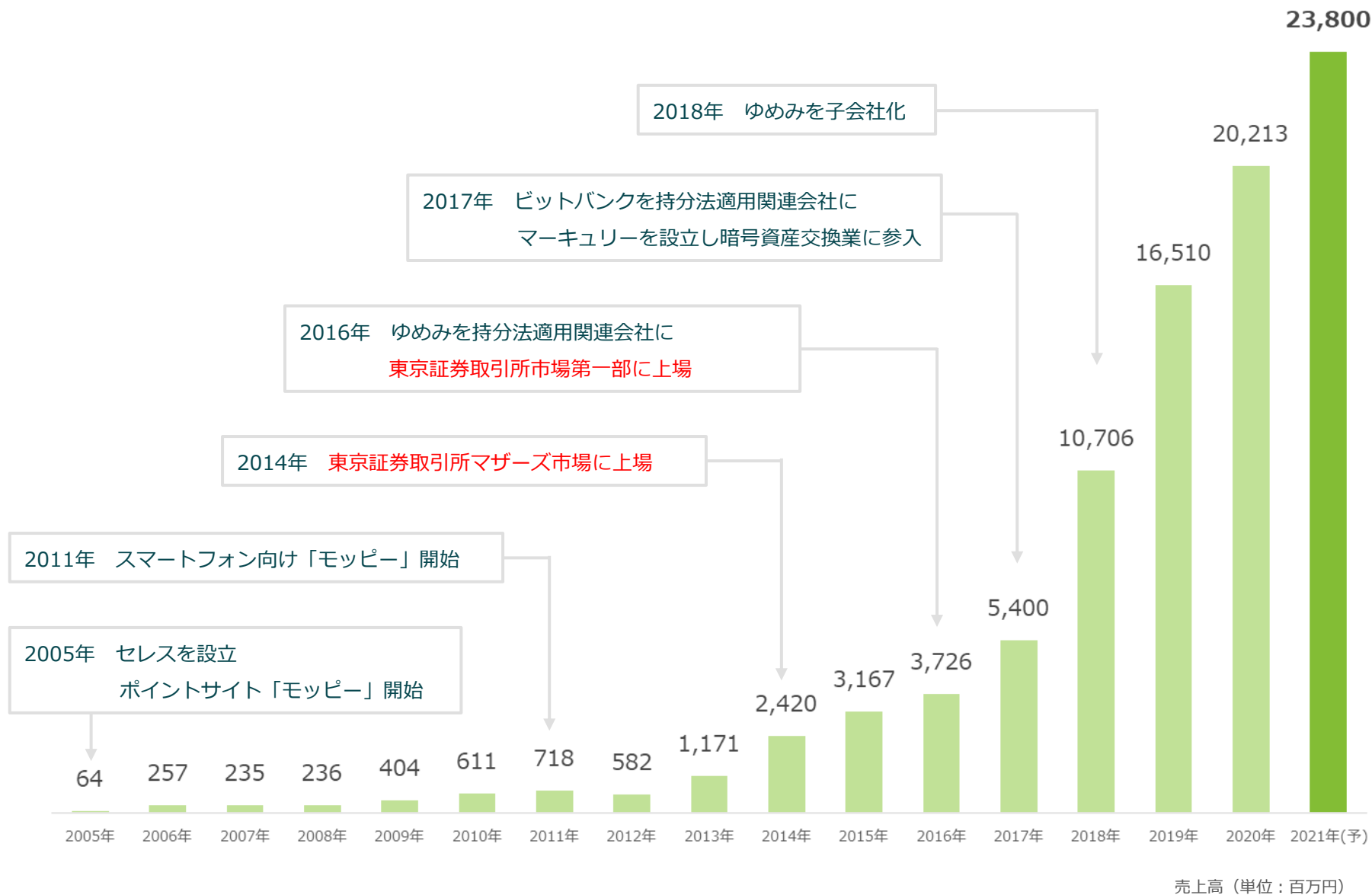


ceres

CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー24F
決算期	12月
資本金	18億7,774万円（2021年6月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	436名（2021年6月末／臨時雇用者含む）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社ゆめみ、株式会社マーキュリー、株式会社バックス、株式会社ディアナ
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社

セレスの沿革




セレスの事業領域と主要サービス

ポイントメディア・アフィリエイトプログラムを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

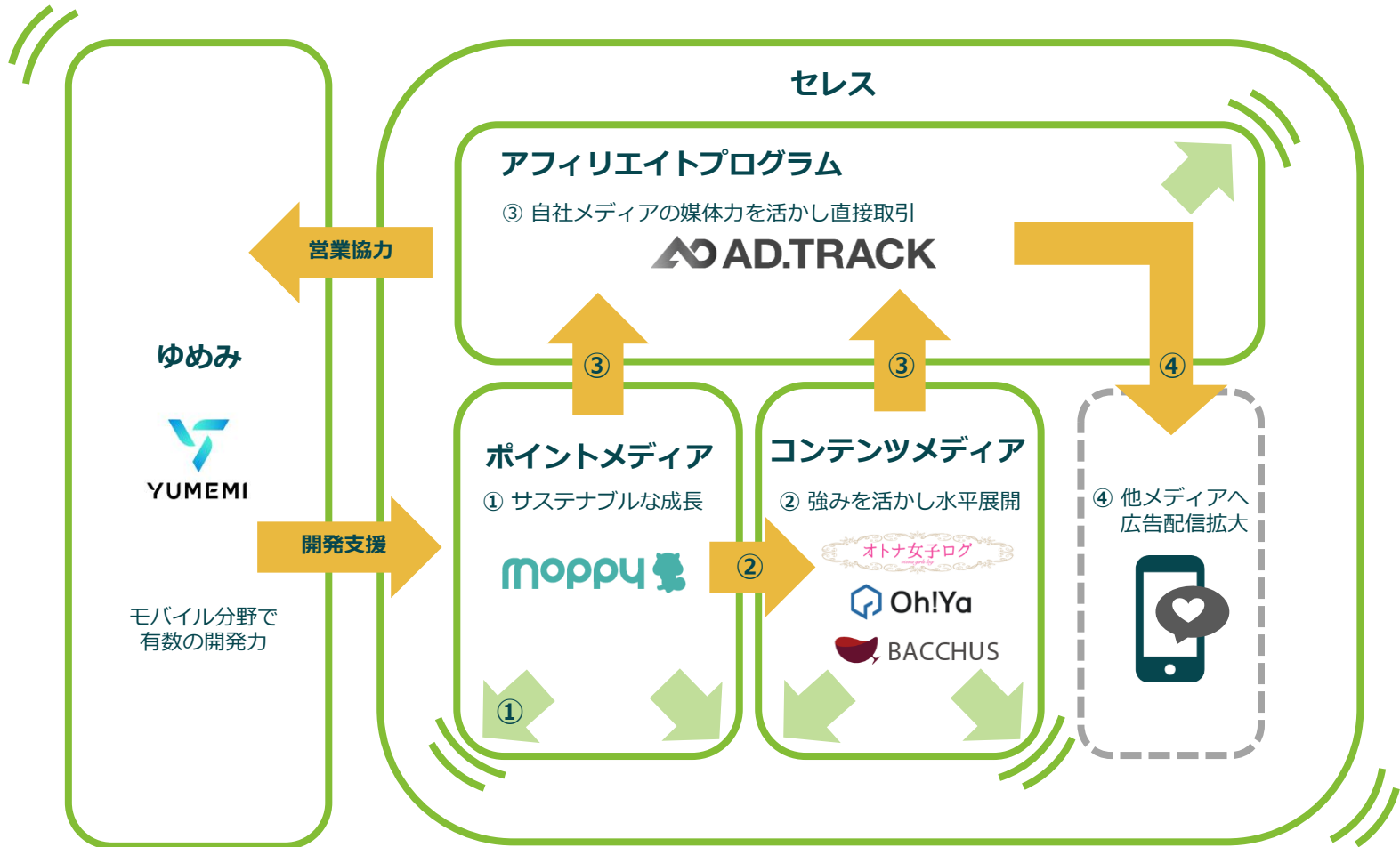
■ モバイルサービス事業

ポイントメディア	
アフィリエイトプログラム	
コンテンツメディア	     
デジタルトランスフォーメーション(DX)	

■ フィナンシャルサービス事業

ブロックチェーン関連	 
オンラインファクタリング	 
投資育成事業	CVC (コーポレート ベンチャー キャピタル)

※2021年1Qより「ナゲット」との連携を図るため、「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更



ブロックチェーン関連の事業領域

セレス

ブロックチェーン関連事業の研究・開発及びマーケティング支援・CVC投資



複数暗号資産にて
POSマイニングを実施
(マーキュリーに委託)



BTC海外送金サービス
137カ国に対応



暗号資産販売所
売却済みアーンアウト発生



BTC・SNS送金サービス
(撤退済)



国内初のBCゲーム
(撤退済)

持分法適用関連会社
(27%)

子会社
(100%)

CVC投資

ビットバンク



国内最大規模の
暗号資産取引所を運営

取扱い通貨：19ペア

技術連携
カバー取引

マーキュリー



暗号資産販売所を運営
2021年3月開業

取扱い通貨：5ペア

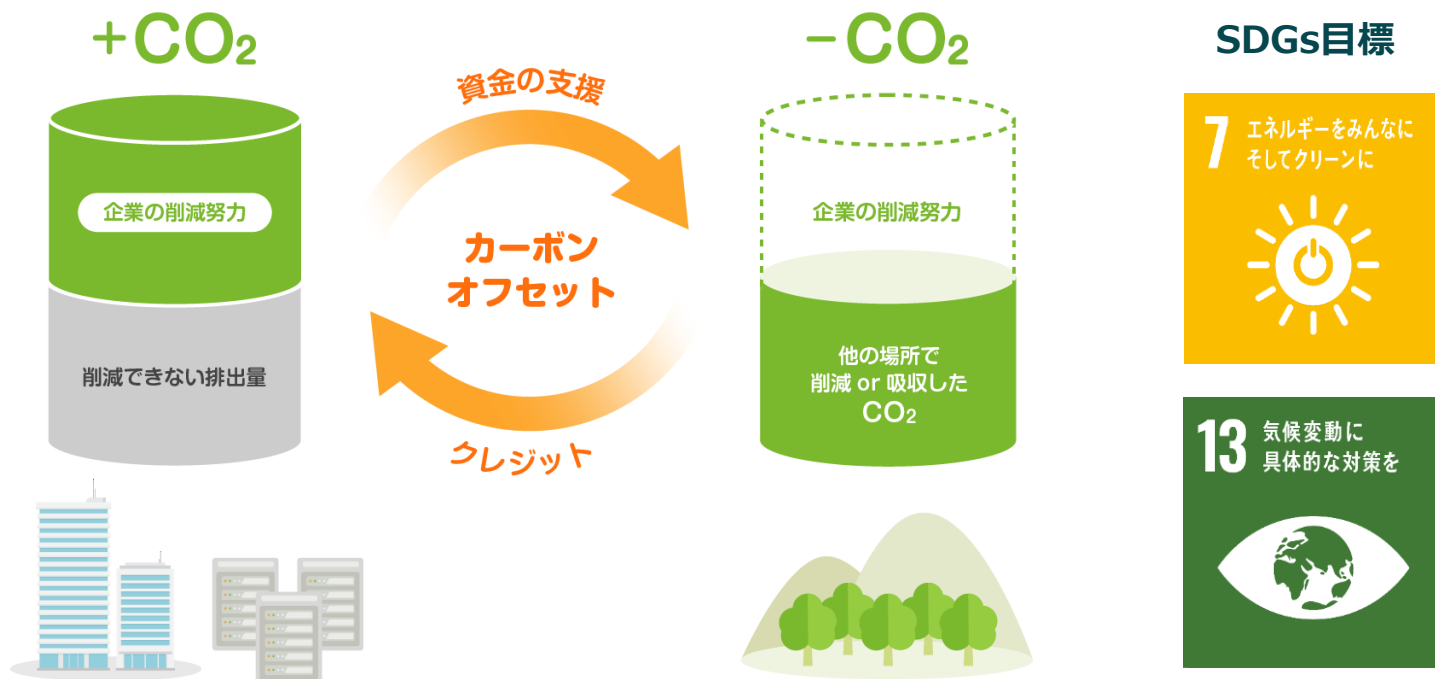
協業/連携

投資先ベンチャー



セレスグループは2021年度から「カーボンニュートラル」の実現へ
政府目標の2050年に先立ち2021年からカーボンニュートラルを達成

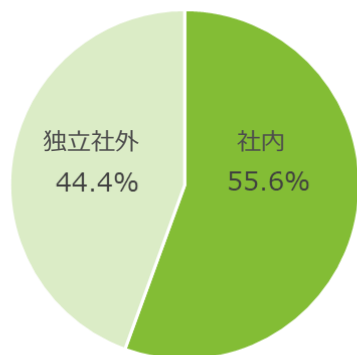
ポイントサイト「モッピー」をはじめグループのWebサービスで使用される
サーバーやオフィスで使用される電力に伴う排出CO₂の100%オフセット



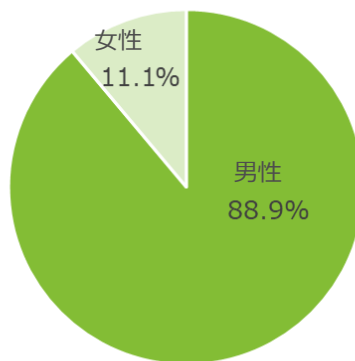


コーポレートガバナンスの取組強化により中長期的な企業価値増大へ
持続的成長のためにジェンダー平等などダイバーシティの充実を推進

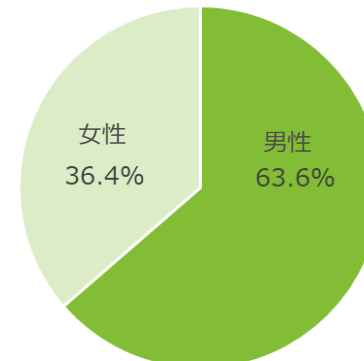
セレス取締役
独立社外取締役比率



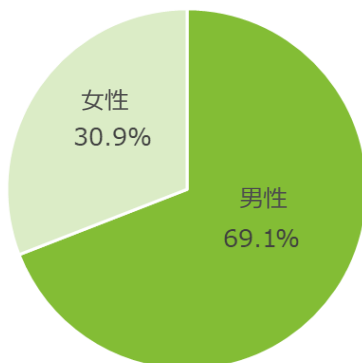
セレス取締役
男女比



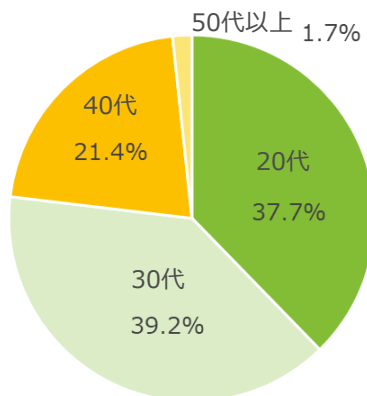
セレス管理職
男女比



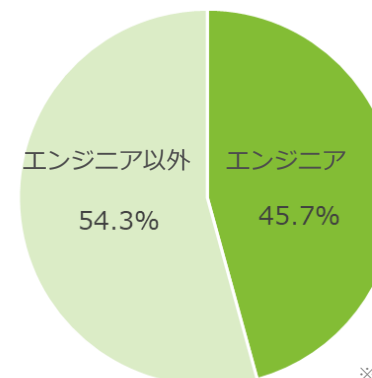
セレスグループ
男女比



セレスグループ
年代別



セレスグループ
エンジニア比率



※ データは6月末時点



2. 連結決算の概要

損益計算書の概要（第2四半期累計）



（単位：百万円）	2021年12月期 第2四半期累計	2020年12月期 第2四半期累計	前年同期比
売上高	12,867 (100.0%)	9,598 (100.0%)	+34.1%
売上総利益	4,536 (35.3%)	2,464 (25.7%)	+84.1%
販売費及び一般管理費	2,861 (22.2%)	1,655 (17.2%)	+72.8%
営業利益	1,675 (13.0%)	809 (8.4%)	+107.1%
経常利益	2,627 (20.4%)	814 (8.5%)	+222.6%
四半期純利益※1	1,797 (14.0%)	385 (4.0%)	+366.7%
EBITDA※2	2,778 (21.6%)	895 (9.3%)	+210.3%

※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

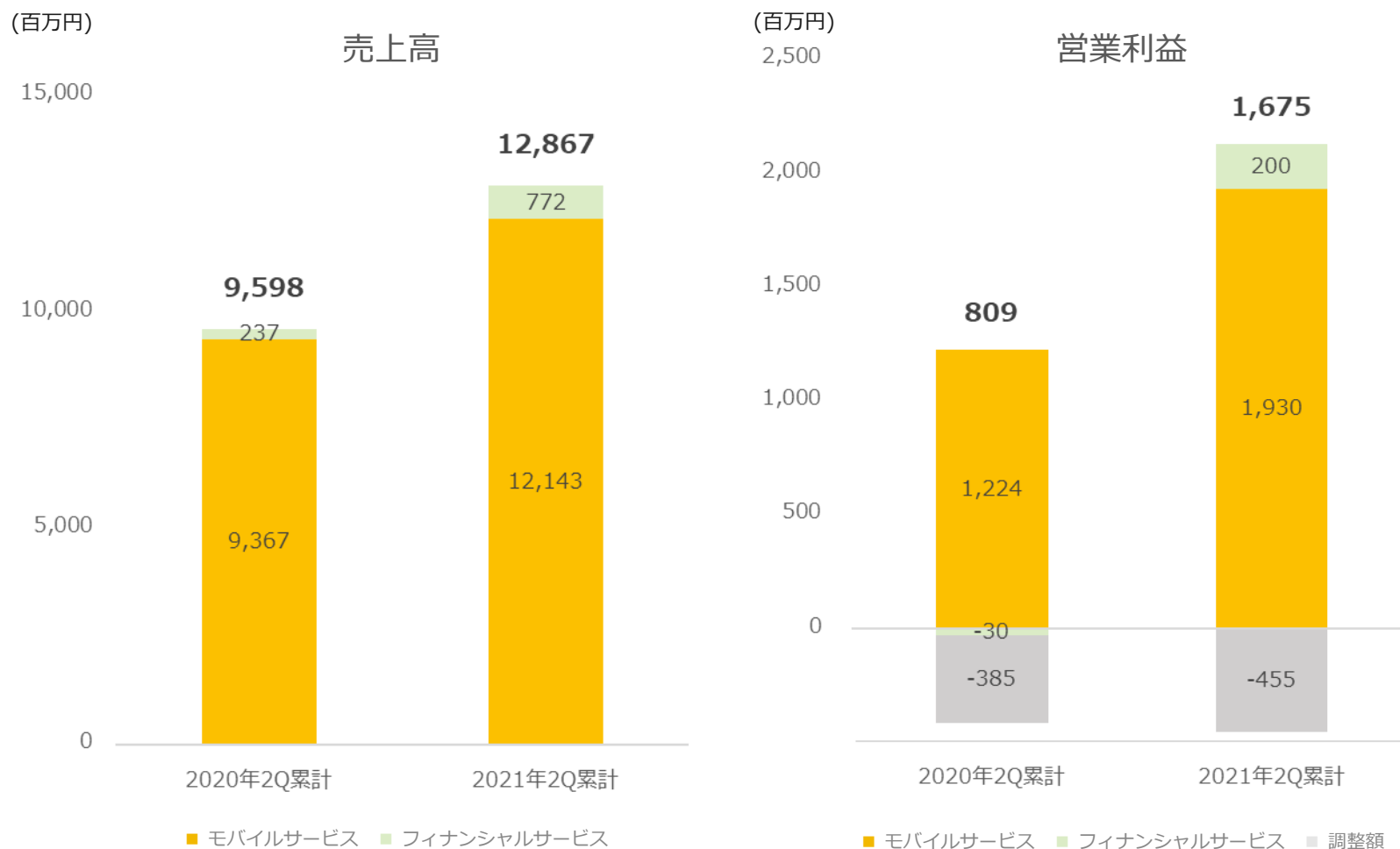
セグメント別売上高（第2四半期累計）

（単位：百万円）	2021年12月期 第2四半期累計	2020年12月期 第2四半期累計	前年同期比
売上高	12,867 (100.0%)	9,598 (100.0%)	+34.1%
モバイルサービス事業	12,143 (94.4%)	9,367 (97.6%)	+29.6%
ポイントメディア	4,772 (37.1%)	2,980 (31.0%)	+60.1%
アフィリエイト	3,596 (28.0%)	4,231 (44.1%)	-15.0%
コンテンツメディア※1	2,063 (16.0%)	719 (7.5%)	+186.8%
ゆめみ	1,869 (14.5%)	1,436 (15.0%)	+30.1%
セグメント内の振替高※2	-158 (-)	- (-)	-
フィナンシャルサービス事業※1	772 (6.0%)	237 (2.5%)	+224.9%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-48 (-)	-7 (-)	-

※1 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

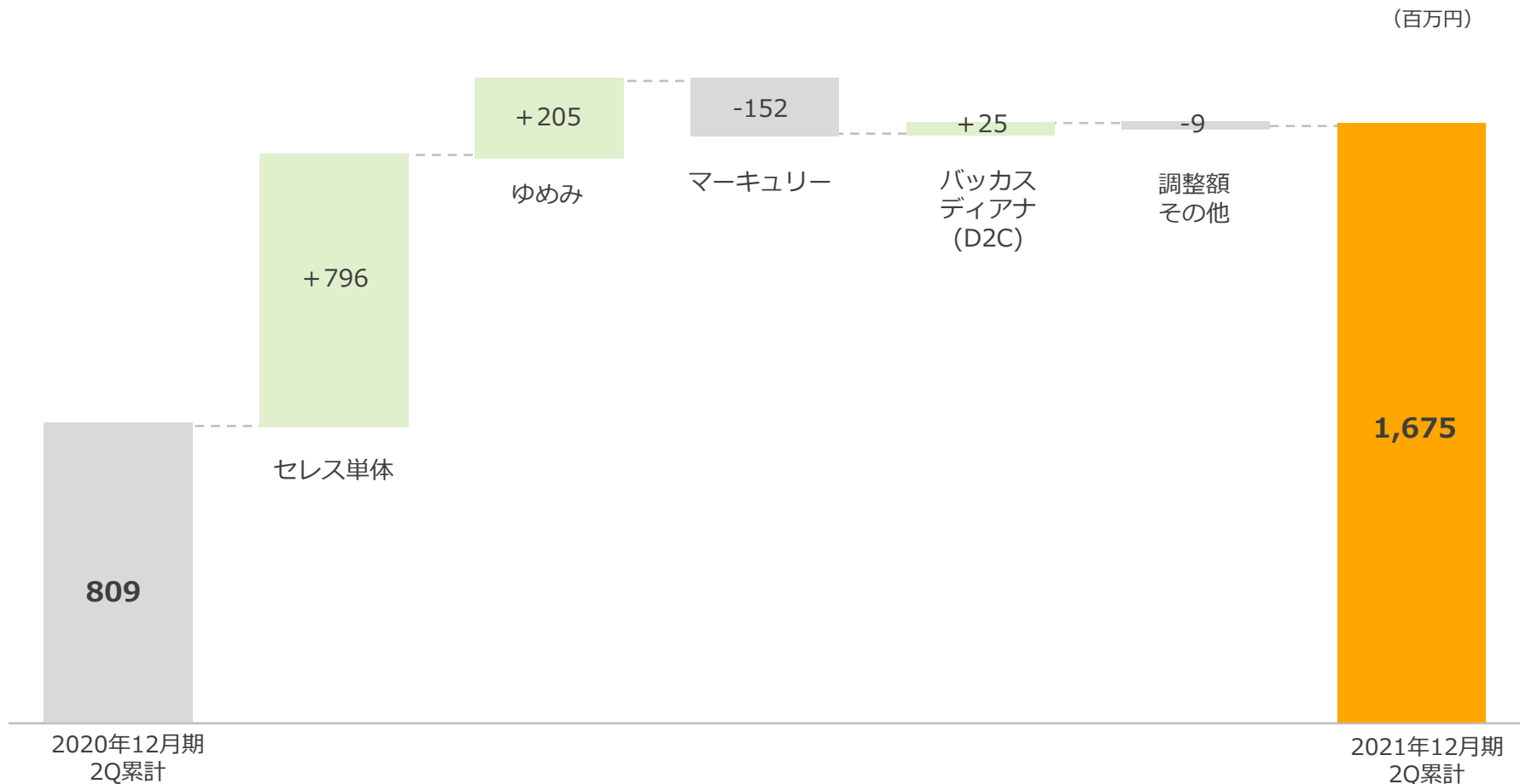
※2 モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

モバイルはポイント好調で前年同期比29.6%増収・57.7%増益に フィナンシャルはCCアーンアウトで224.9%増収・黒字転換に



※ 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

セレス単体はポイントとアーンアウトの貢献により大幅増益
ゆめみは高稼働率維持により増益、マーキュリーは計画通り先行投資



損益計算書の概要（第2四半期）

（単位：百万円）	第2四半期 （2021年4-6月）	前年同期 （2020年4-6月）	前年同期比	第1四半期 （2021年1-3月）	前四半期比
売上高	6,399 (100.0%)	4,993 (100.0%)	+28.2%	6,467 (100.0%)	-1.1%
売上総利益	1,955 (30.6%)	1,150 (23.0%)	+69.9%	2,581 (39.9%)	-24.3%
販売費及び 一般管理費	1,328 (20.8%)	843 (16.9%)	+57.6%	1,532 (23.7%)	-13.3%
営業利益	626 (9.8%)	307 (6.2%)	+103.6%	1,049 (16.2%)	-40.3%
経常利益	774 (12.1%)	303 (6.1%)	+155.4%	1,852 (28.6%)	-58.2%
四半期純利益※1	457 (7.2%)	82 (1.6%)	+456.6%	1,339 (20.7%)	-65.8%
EBITDA※2	857 (13.4%)	310 (6.2%)	+176.2%	1,920 (29.7%)	-55.4%

※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA=税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失

セグメント別売上高（第2四半期）

(単位：百万円)	第2四半期 (2021年4－6月)	前年同期 (2020年4－6月)	前年同期比
売上高	6,399 (100.0%)	4,993 (100.0%)	+28.2%
モバイルサービス事業	6,064 (94.8%)	4,880 (97.7%)	+24.3%
ポイントメディア	2,367 (37.0%)	1,268 (25.4%)	+86.6%
アフィリエイト	1,874 (29.3%)	2,495 (50.0%)	-24.9%
コンテンツメディア※1	862 (13.5%)	383 (7.7%)	+124.7%
ゆめみ	1,035 (16.2%)	732 (14.7%)	+41.4%
セグメント内の振替高※2	-74 (-)	- (-)	-
フィナンシャルサービス事業※1	355 (5.6%)	113 (2.3%)	+212.2%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-20 (-)	-1 (-)	-

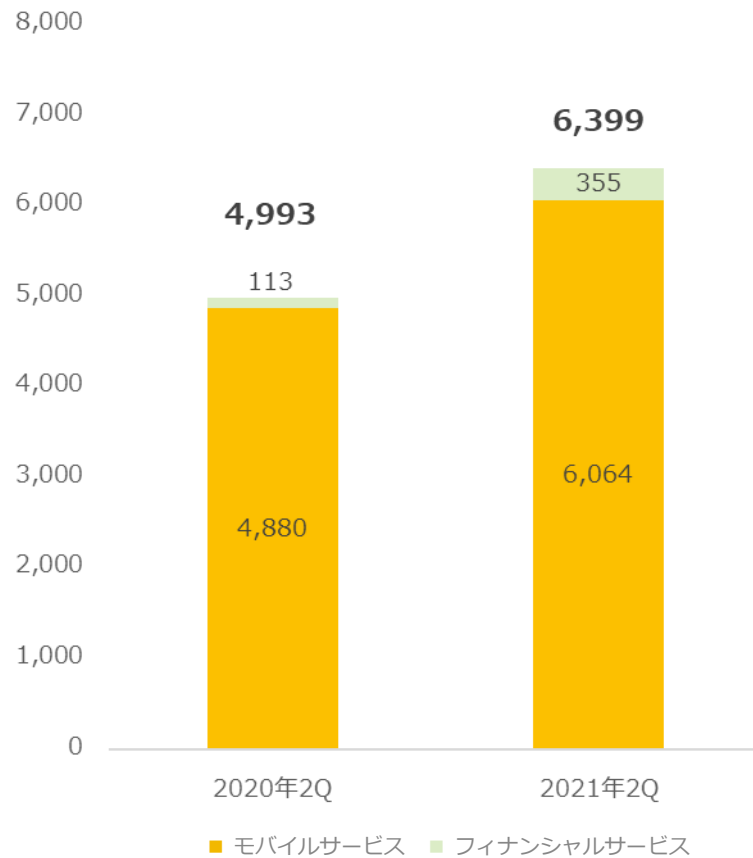
※1 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

※2 モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

モバイルは事業毎に明暗あるも前年同期比24.3%増収・30.8%増益 フィナンシャルはCCアーンアウトでマーキュリーの赤字を吸収

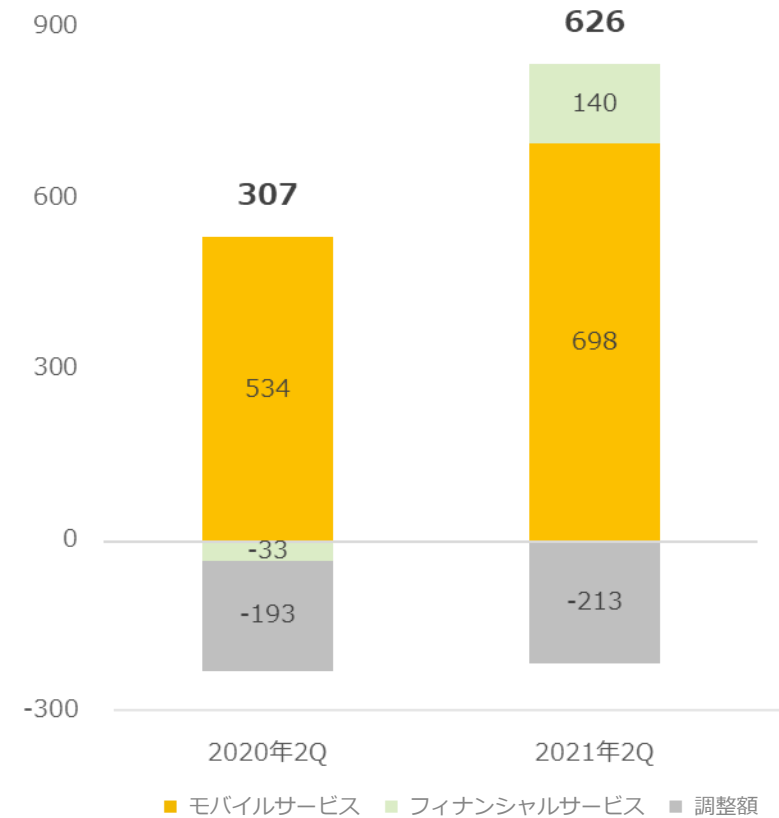
(百万円)

売上高



(百万円)

営業利益



※ セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
 ※ モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2021年12月 第2四半期期末	2020年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	13,305 (71.0%)	11,517 (71.0%)	+1,788	現金及び預金 +1,008 売掛金 +471 営業投資有価証券 +225	
固定資産	5,427 (29.0%)	4,709 (29.0%)	+717	関係会社株式 +739	
資産合計	18,732 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+2,505		
流動負債	8,521 (45.5%)	7,471 (46.0%)	+1,050	ポイント引当金 +590 借入金 +513	
固定負債	1,350 (7.2%)	1,663 (10.3%)	-313	長期借入金 -168 社債 -145	
負債合計	9,872 (52.7%)	9,135 (56.3%)	+736		
純資産合計	8,860 (47.3%)	7,091 (43.7%)	+1,769	四半期純利益 +1,797 配当金 -197	
負債・純資産合計	18,732 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+2,505		

連結業績予想の上方修正について

(単位：百万円)	2021年12月期 2Q累計実績	2021年12月期 期初予想	2021年12月期 修正予想	期初予想 増減額	期初予想 増減率
売上高	12,867	23,800	23,800	-	-
営業利益	1,675	2,000	2,000	-	-
経常利益	2,627	2,600	3,000	+400	+15.4%
当期純利益	1,797	1,600	2,000	+400	+25.0%
EBITDA	2,778	3,000	3,400	+400	+13.3%
1株当たり 当期純利益	163円40銭	145円50銭	181円78銭	+36円28銭	+24.9%
1株当たりの 配当額	-	30.00円	36.00円	+6.00円	+20.0%

■ 修正理由

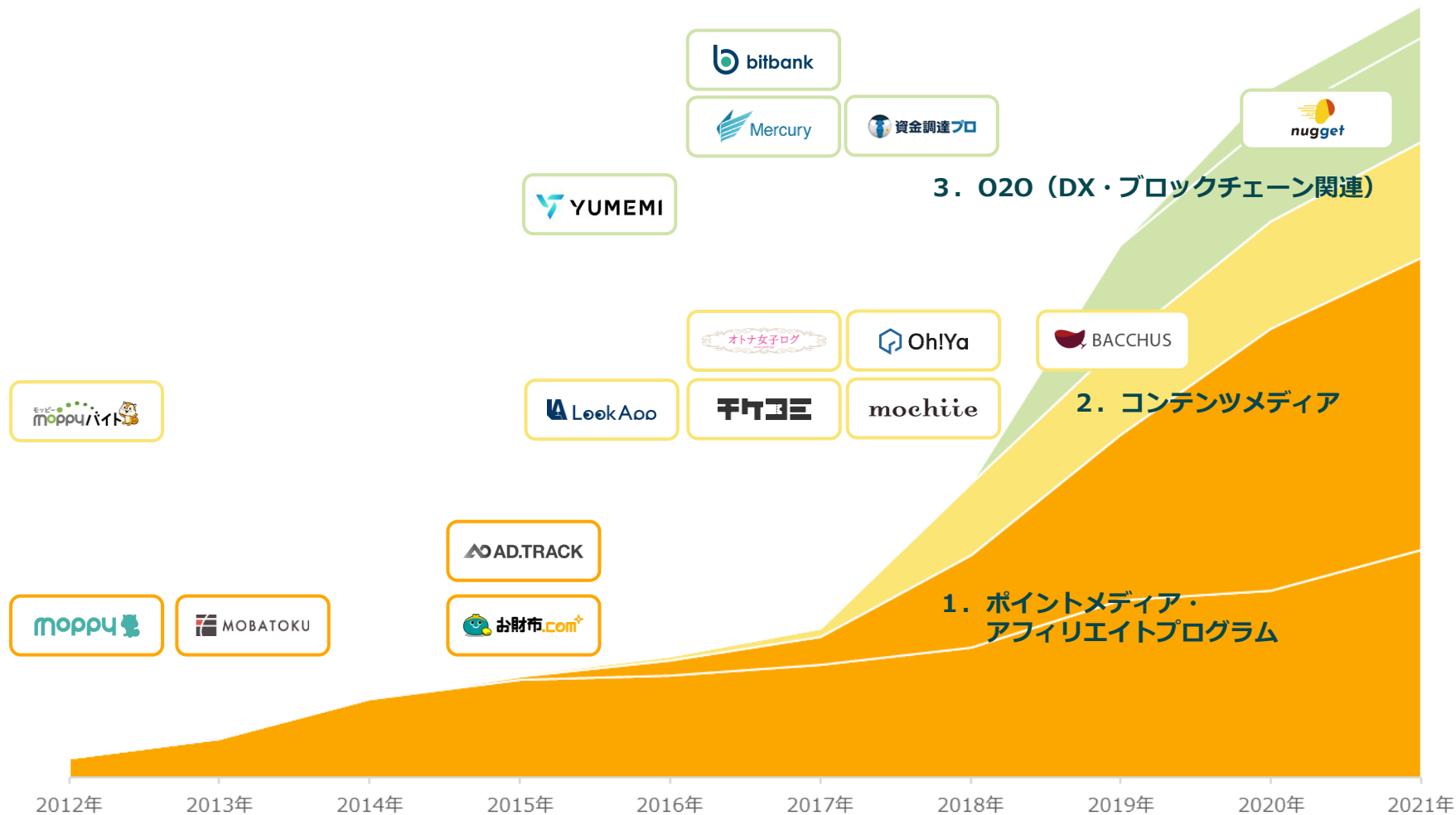
売上高についてはコロナ感染拡大に伴う将来が見通せないこと、営業利益についてはD2C（バカス・ディアナ）とマーキュリーへの先行投資強化のため据え置き。

経常利益・当期純利益・EBITDAについては、持分法投資利益が期初予想を上回る水準で推移しているため上方修正に。配当額は前年比2倍の予想比+6円増額に。



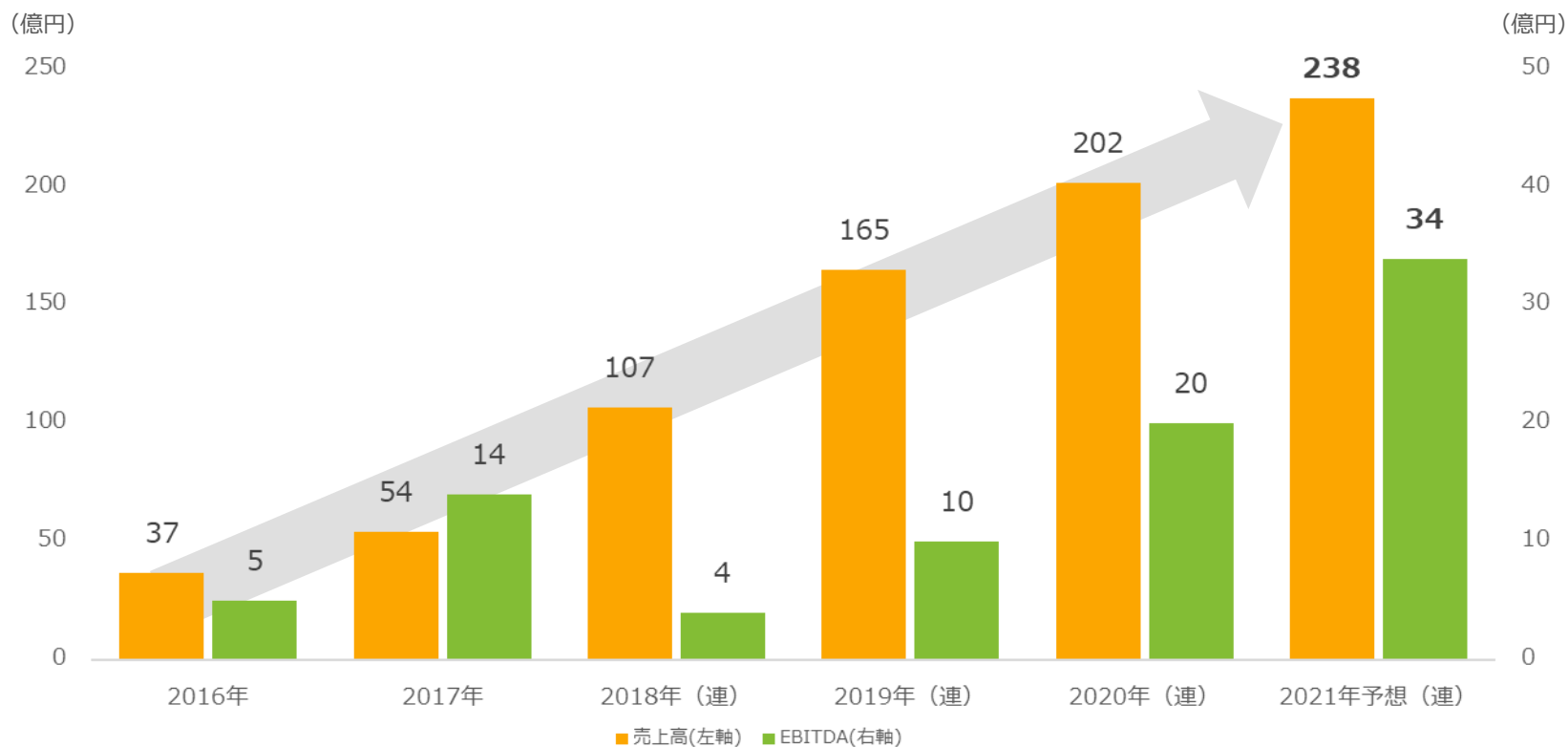
3. 成長戦略と事業概要

「ポイントメディア+a」への投資を継続、中長期成長へ



中期経営計画（最終年度）

5カ年計画直前年度 売上高：37億円 利益(EBITDA)：5億円
5カ年計画最終年度 売上高：238億円 利益(EBITDA)：34億円



※ EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失
※ 2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。



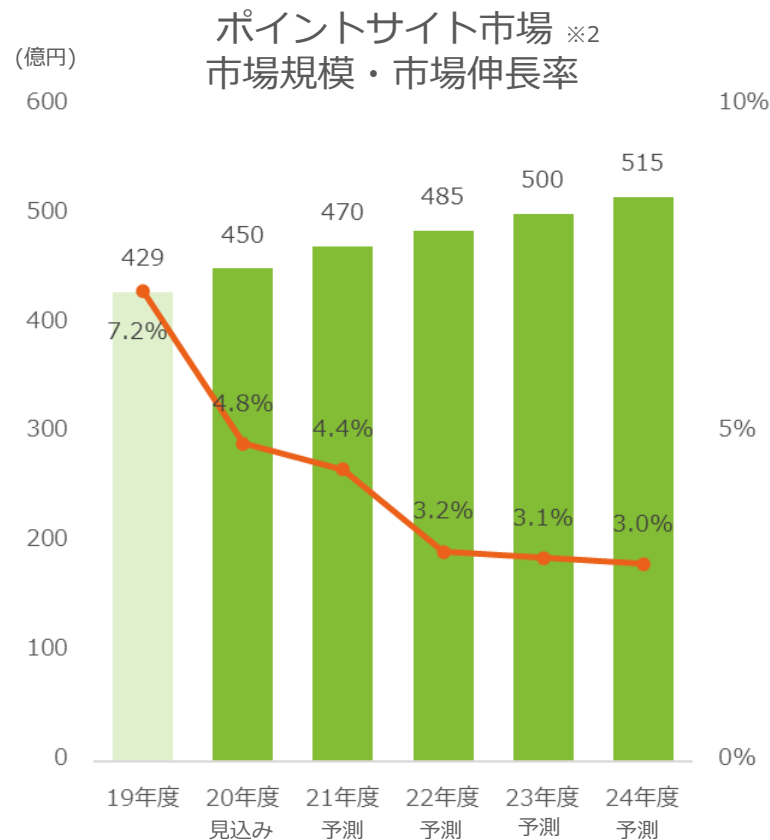
セレス モバイルサービス (ゆめみ除く)

CAGR : 55.3% ※1



セレス ポイントメディア

CAGR : 18.3% ※1



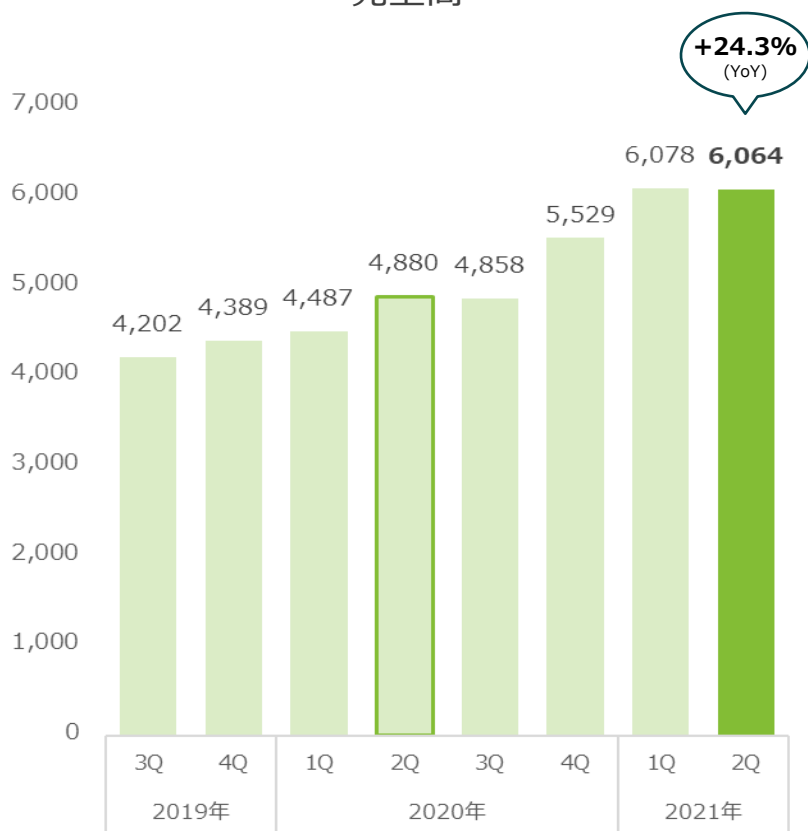
※1 CAGRは2017年から2020年の売上高年平均成長率
 ※2 矢野経済研究所「アフィリエイト市場の動向と展望2021」



会員増のポイントとDX需要本格化のゆめみが売上をけん引し増収 ポイントの増収効果とゆめみの高稼働率で前年同期比30.8%の増益

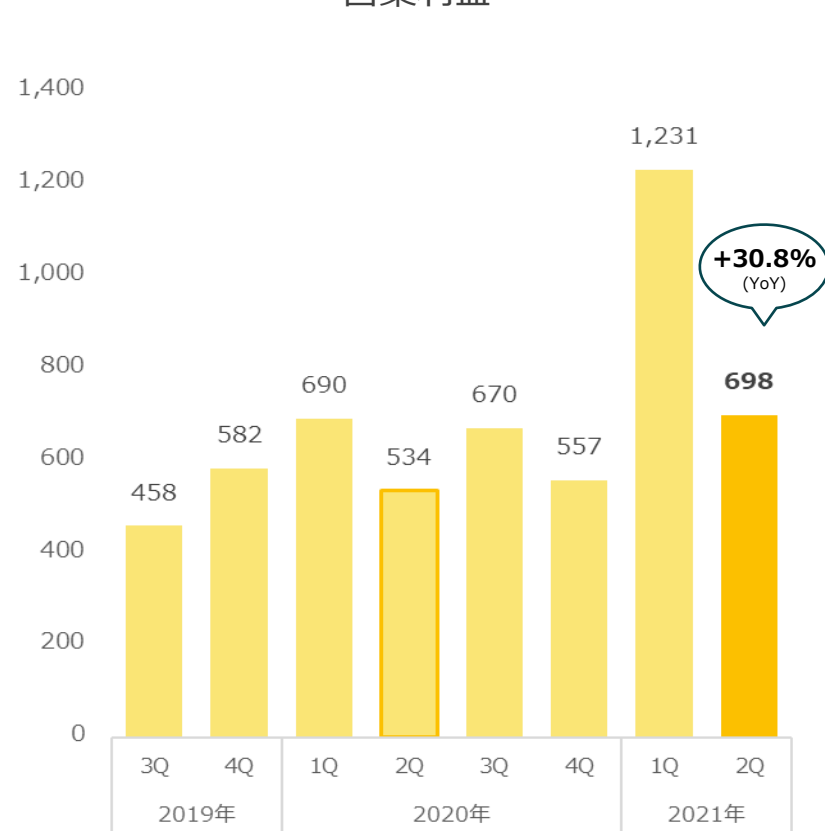
(百万円)

売上高



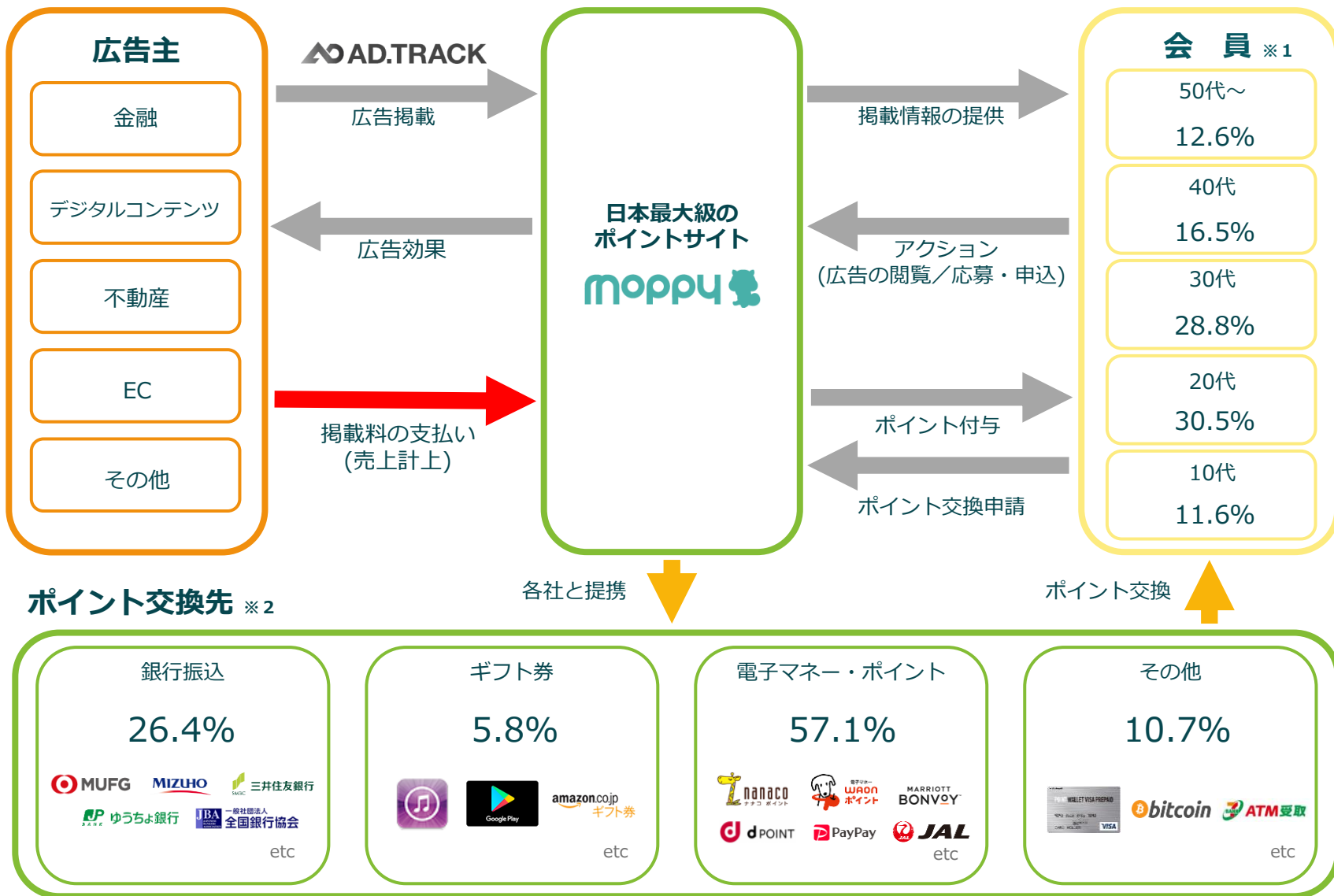
(百万円)

営業利益



※ 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

ポイントメディアについて

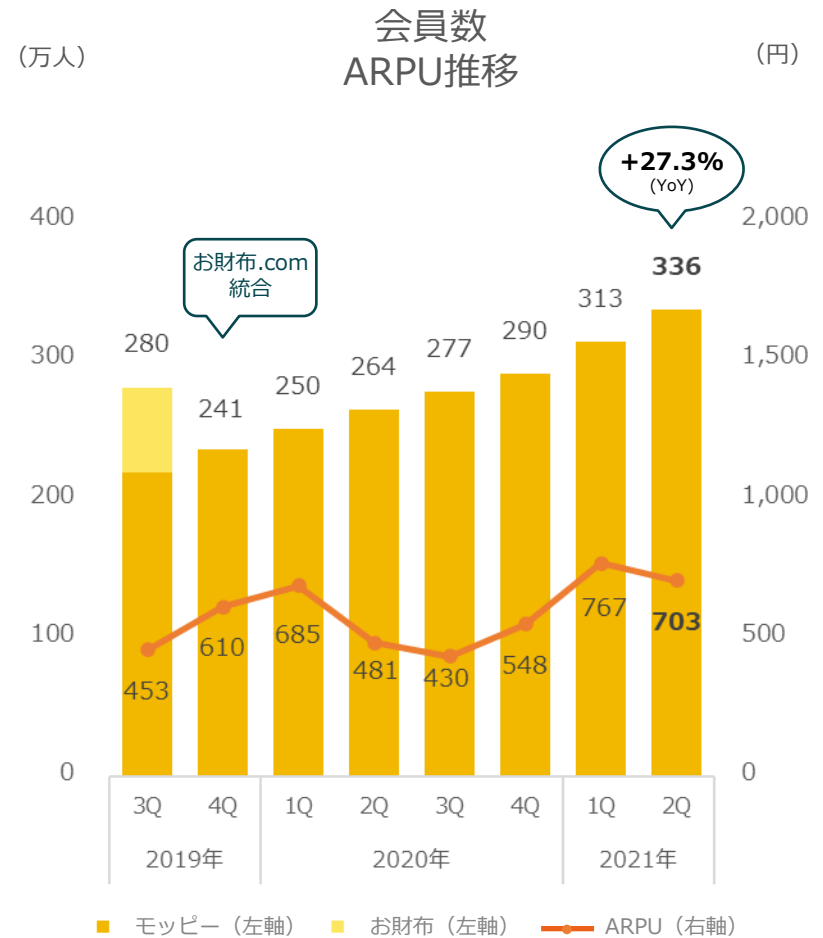
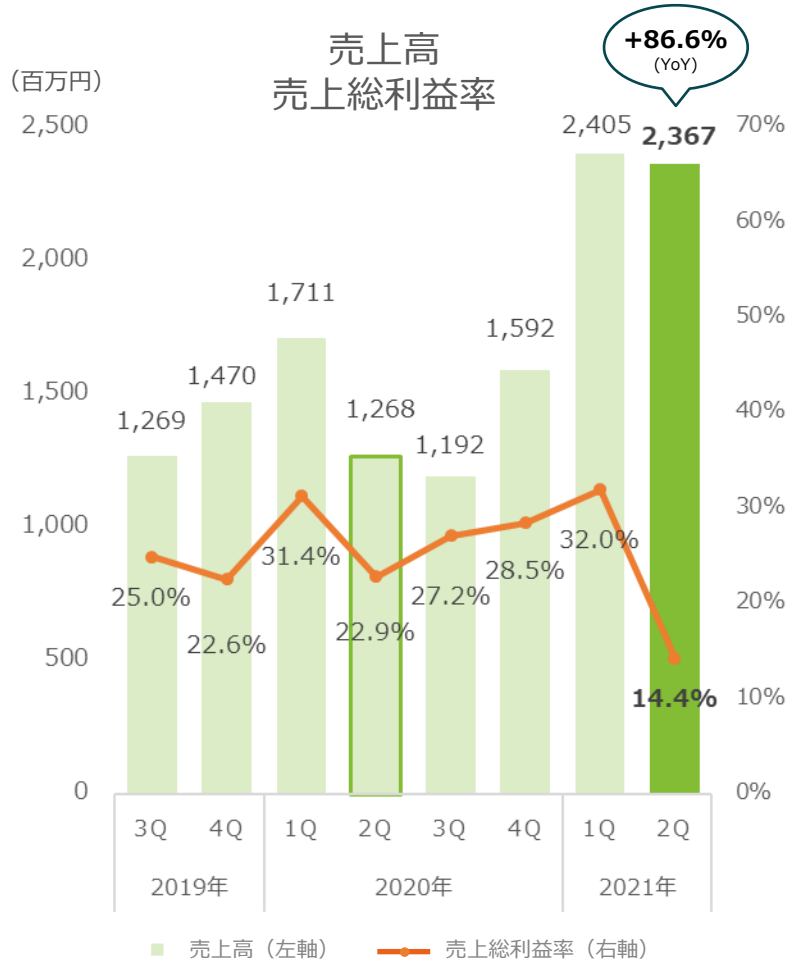


※1 2021年6月末日時点の割合

※2 2021年4~6月に発生したポイント交換割合

ポイントメディアの業績推移

売上高は金融系広告の増加と会員数の増加により前年同期比で大幅増収
粗利率はポイント付与のタイミングのズレにより一時的に大きく下落



モッピーアプリにフィンテック機能を順次搭載し新たな領域を狙う
スマホ決済機能で利便性向上しポイ活アプリからFintechアプリに進化

入金(チャージ)

モッピーポイント



銀行振込・クレジットカード



後払いチャージ機能



(残高が無い場合にも無審査で即日チャージ)



アプリ決済

リアル店舗でのスマホ決済
(非接触のNFC決済機能)



オンライン決済
(ブランドプリペイド決済機能)



ポイントのユーザー間送金



ポイント交換を通じてキャッシュレス決済が可能

QRコード決済

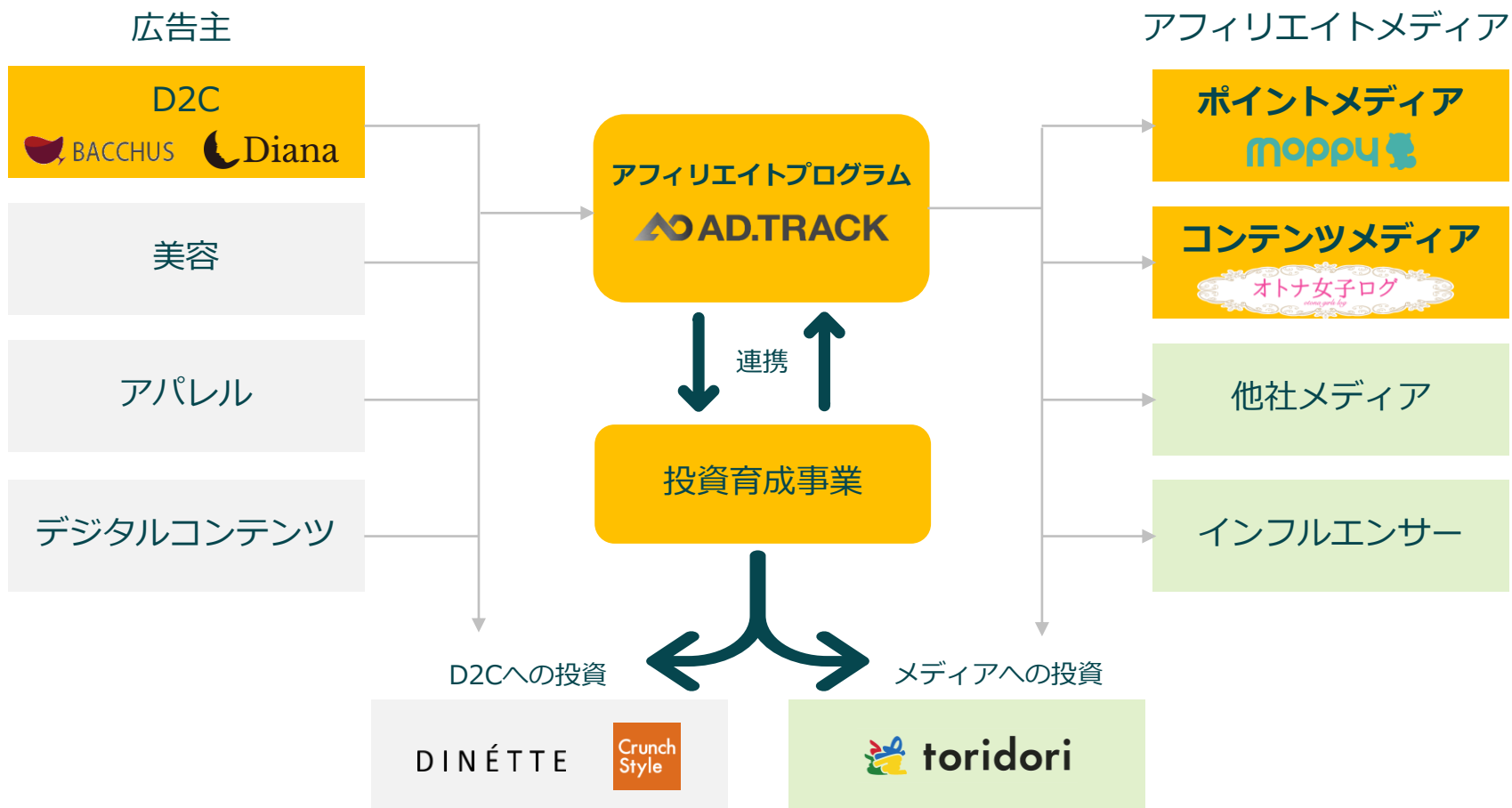


フェリカ決済



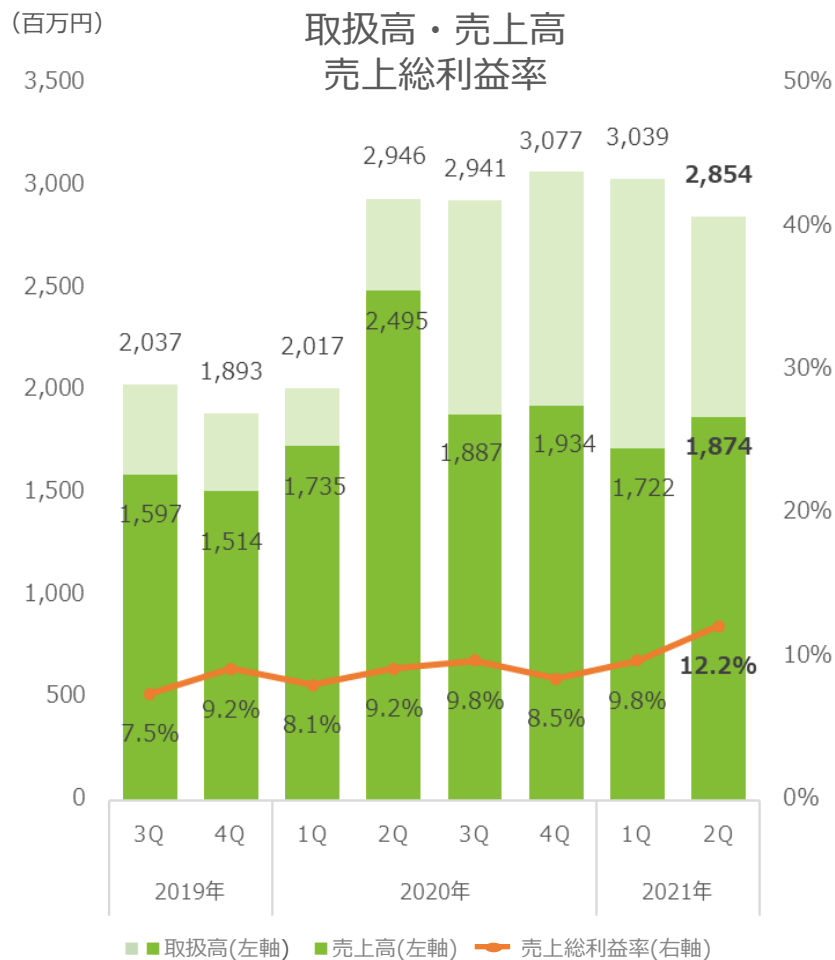
アフィリエイトプログラムについて

自社メディアの媒体力を活かしアフィリエイトプログラムを拡大
投資育成事業と連携しD2C・メディア系ベンチャーへ投資し事業提携

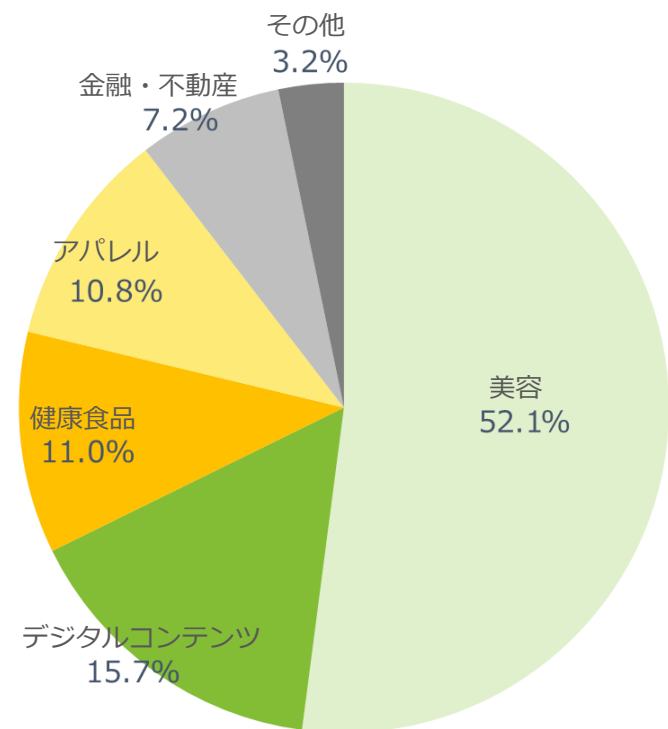


アフィリエイトプログラムの業績推移

売上高は前年同期比24.9%減も取扱高は自社媒体の取扱強化により微減
粗利額(新収益基準で売上高)は前年同期比同水準・前四半期比35.7%増



取扱高構成比
(2021年 2Q累計)



アフィリエイトプログラムの収益力強化

D2Cクライアント向け自社開発ツール(B2B SaaS)の販売を強化
動画市場拡大に対応しインフルエンサーマーケティングを強化

広告主への営業提案

クライアントのROI向上に貢献する
テクノロジーツール(チャットツール)を販売

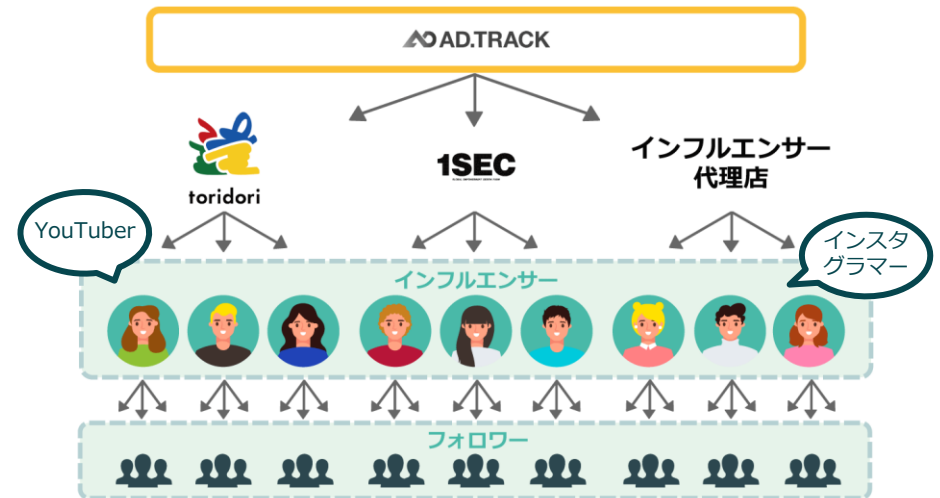
▼
ストック型売上の増加による収益性の向上



動画広告×インフルエンサー

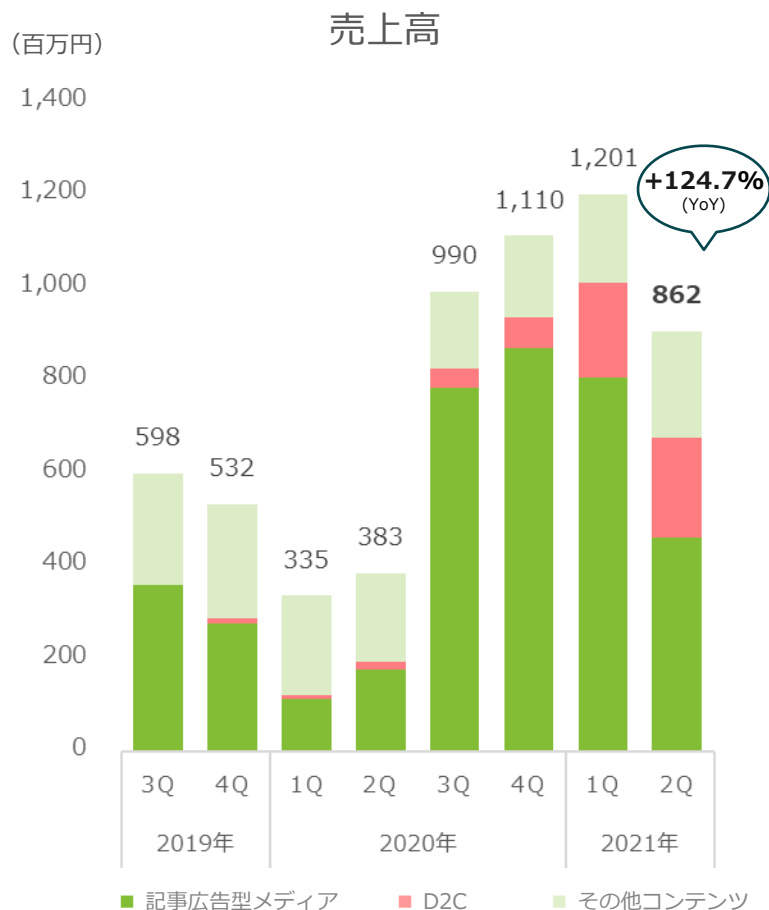
インフルエンサー広告の中心が静止画広告から
動画広告へ移行

動画×インフルエンサー×アフィリエイト =
ライブコマース市場の出現を予想



コンテンツメディアの業績推移

記事広告型メディアは広告出稿先の仕様変更により前四半期比で大幅減収
D2Cはプロモーション強化により前年同期比で12.6倍と規模拡大



※ モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

個人情報保護からの**Cookie・IDFA規制**
消費者保護からの**景表法・薬機法の規制強化**
(広告主だけでなく媒体社も薬機法対象に)

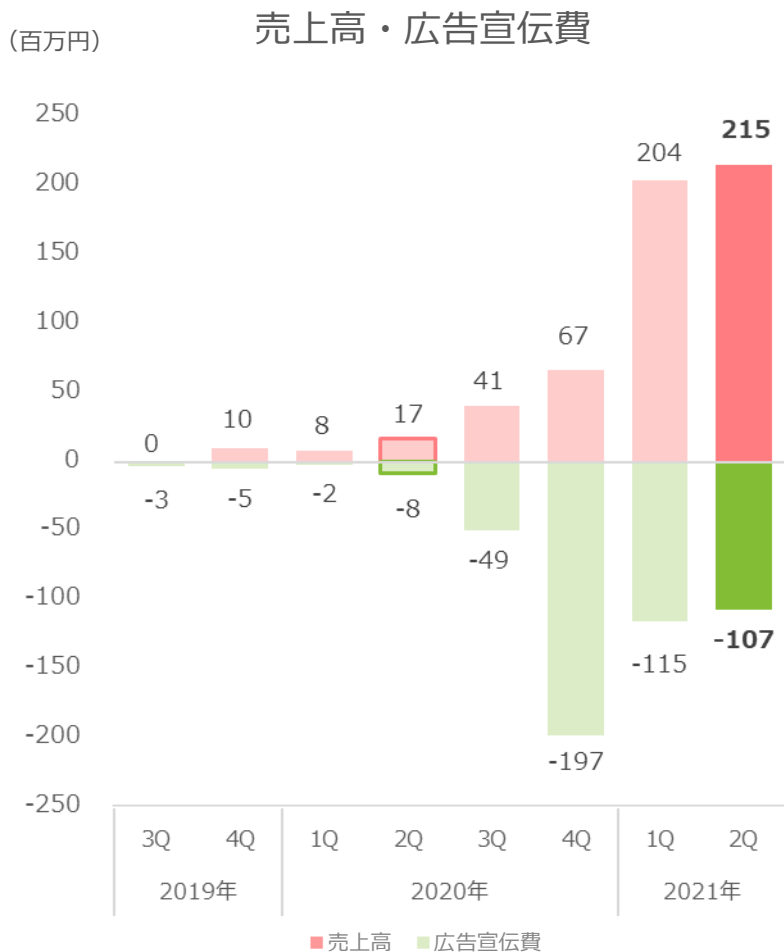
▼
大手媒体社・アドネットワークの広告に関するレギュレーションの大幅変更

▼
記事広告型メディアで広告出稿の停滞と共に最適化困難・ターゲティング精度低下等からROASが悪化し、広告出稿減からの売上減

▼
新レギュレーションに対応した運用力の強化

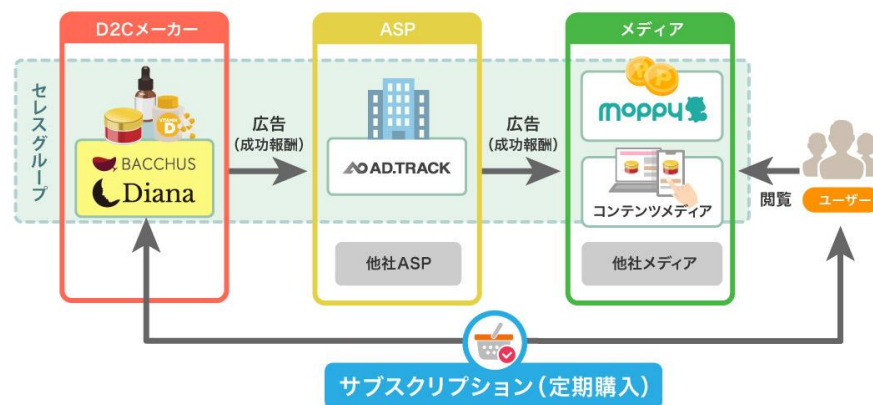
リソース転換でインハウスでのD2C強化へ

D2C×サブスクリプション×アフィリエイトでストック型ビジネスを拡大
プロモーション投資による顧客獲得を強化し中長期利益の極大化を図る



D2C事業の今後の取り組み

- ・新商品の投入でクロスセルを強化しLTV向上
- ・プロモーション投資を下期強化
- ・自社開発テクノロジーツールによる継続率UP
- ・モッピー・アドトラック・コンテンツメディアとの連携によるインハウスでの販売強化



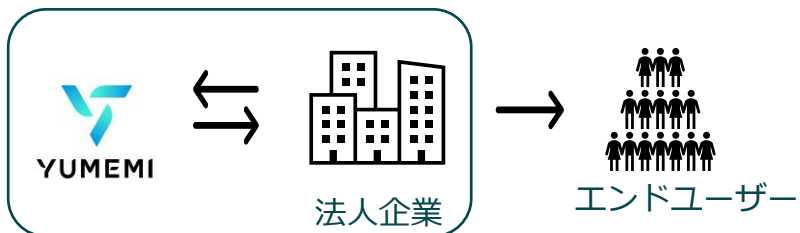
ゆめみについて

会社概要

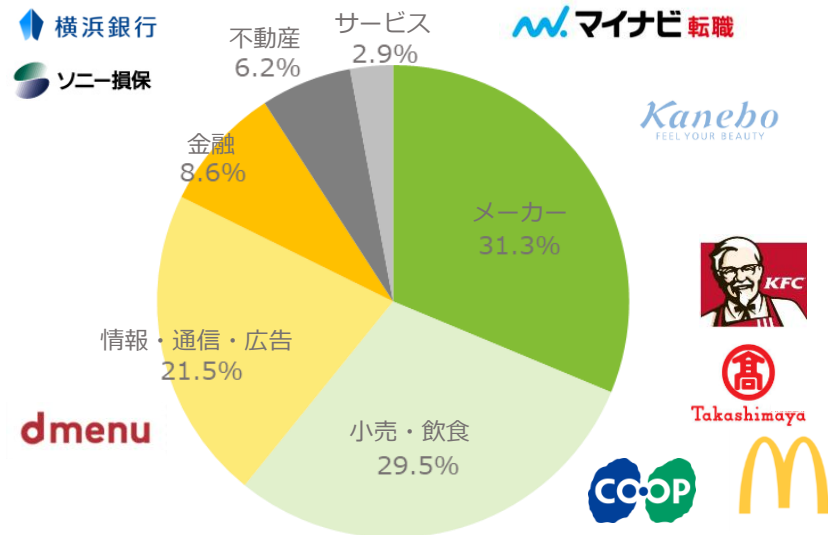
設立年月日：2000年1月27日
決算期：12月
資本金：100百万円
代表者：片岡 俊行
従業員数：253名(2021年6月末現在)
事業内容：企画・開発・コンサルティング
オムニチャネルマーケティング支援
自社サービス運営
2016年 セレス資本業務提携
2018年 セレス連結子会社化

BnB2C(B and B to C)

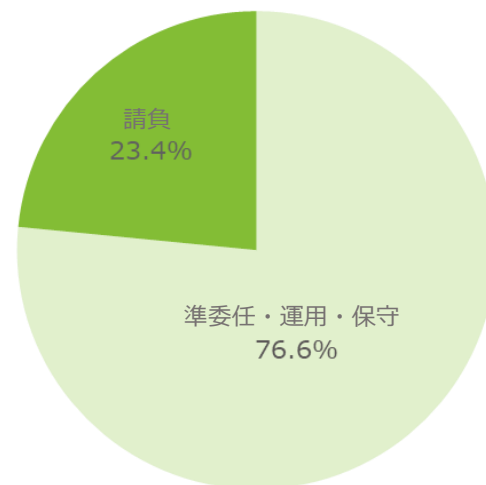
- 企業の方針／戦略を共有し対等な関係で企画
- エンドユーザー向けのネットサービス展開



顧客業種別割合(2021年2Q累計)

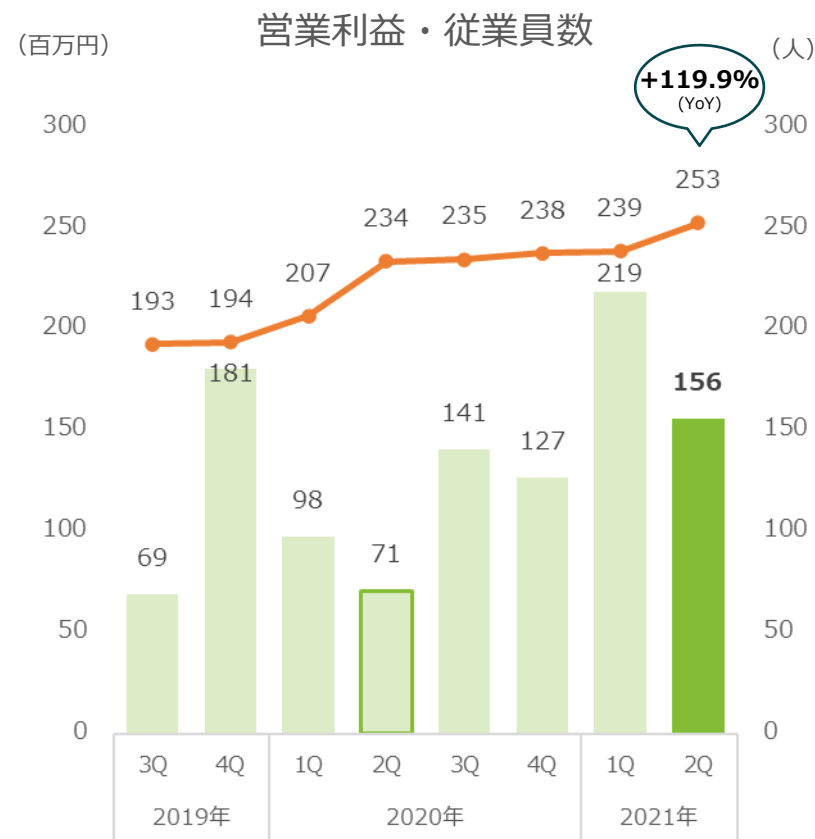
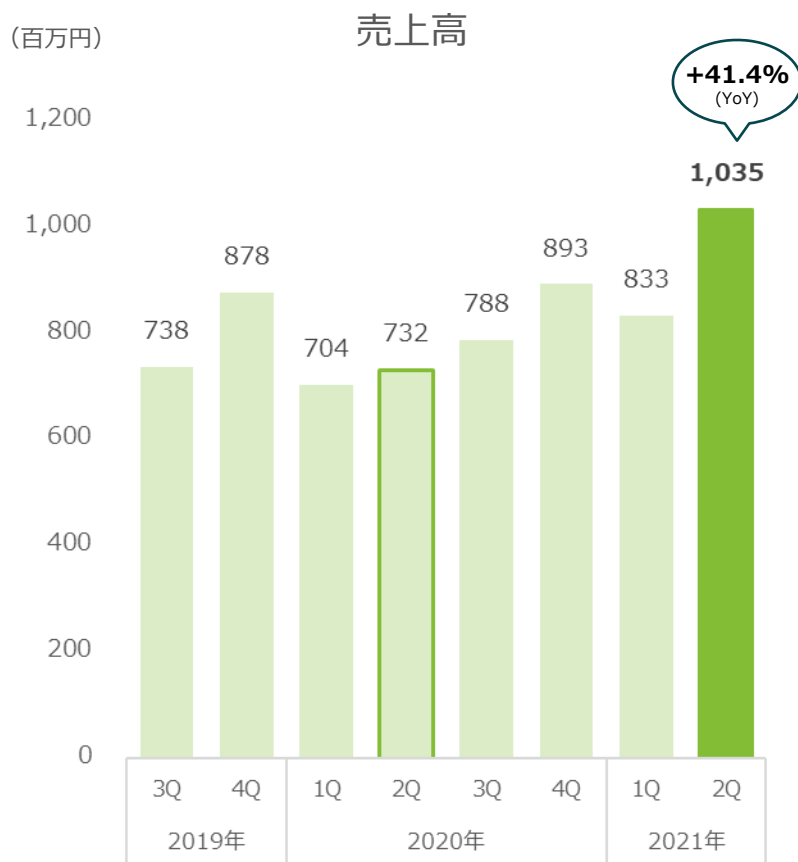


セグメント別売上高(2021年2Q累計)





DXニーズの高まりを追い風に過去最高四半期売上高を達成
 新卒採用による一時的な稼働率低下を吸収し前年同期比で営業増益



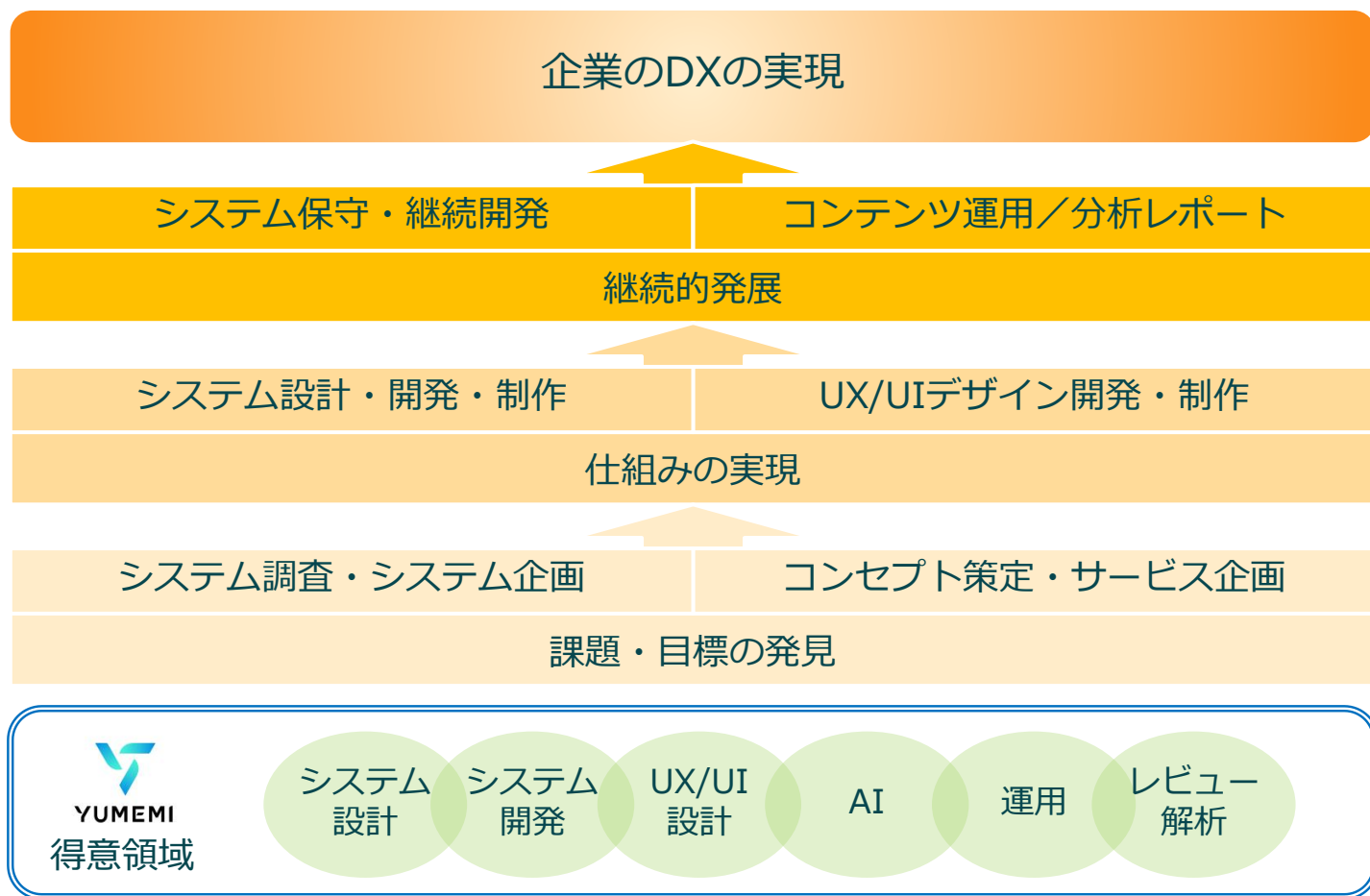
■ 営業利益 (左軸) ● 従業員数 (右軸)

※ 公表数値については、連結前の単体数値で表記しています。

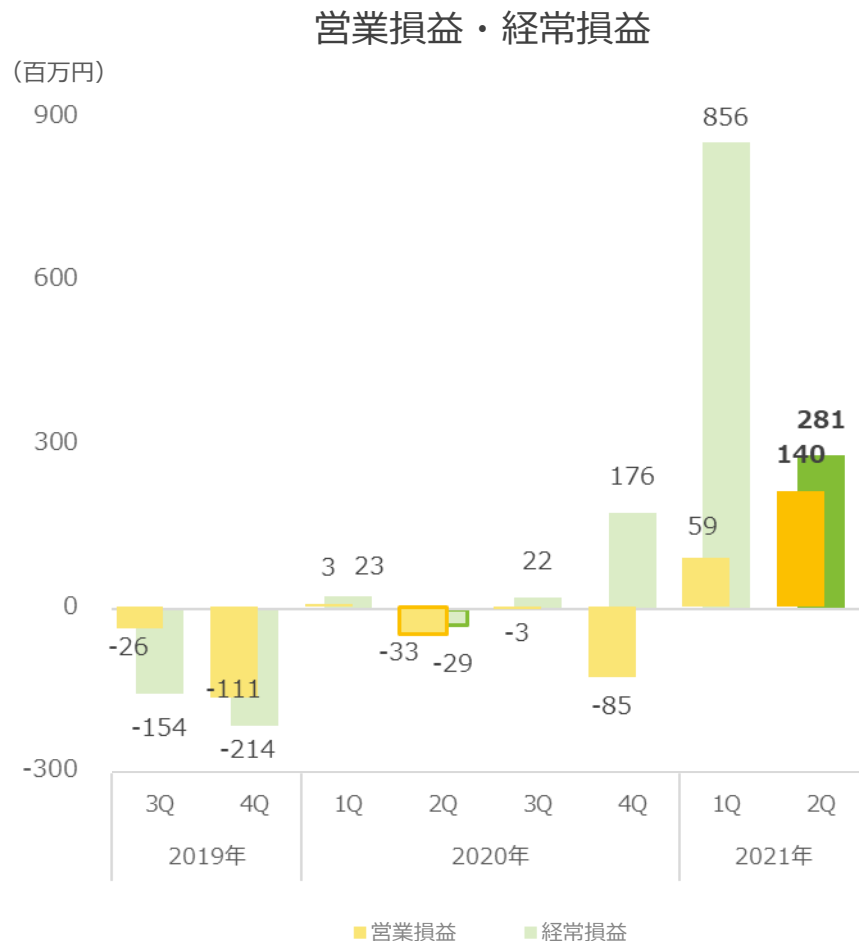
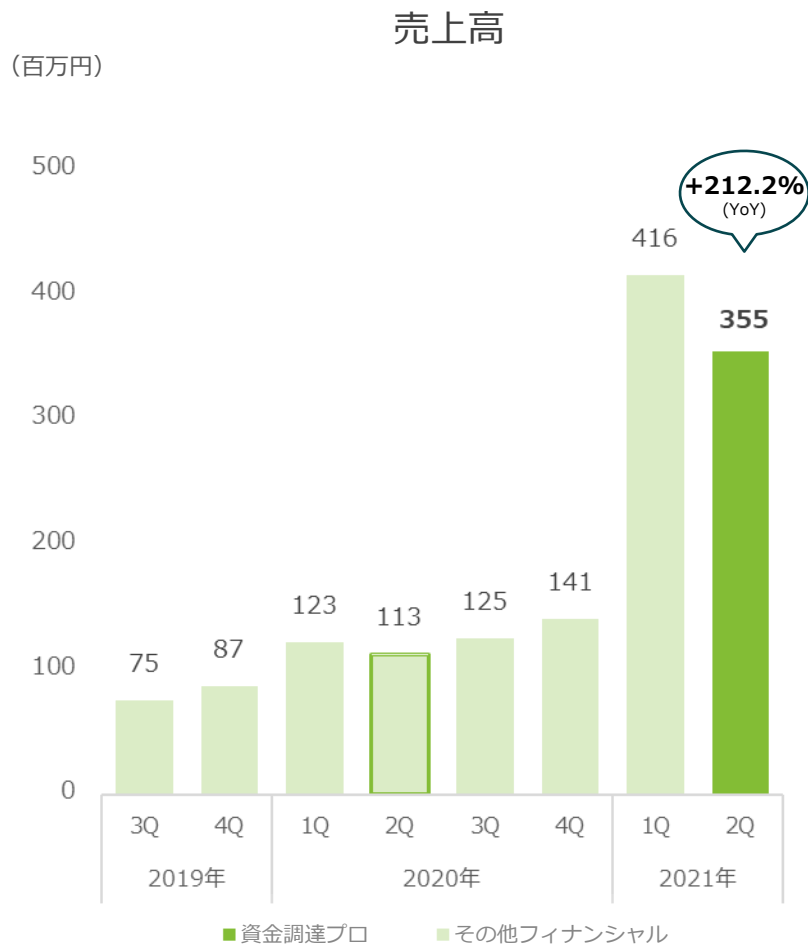
※ 2020年1Qから、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。



BnB2Cのビジネスモデルを展開し大手企業を中心にDXを実現
現在5,000万のMAUを、1億MAUにするサービス運用の強化



コインチェックのアーンアウト295百万円が売上高・各利益に貢献 マーキュリーの投資を吸収して営業・経常黒字を確保



※ モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

マーキュリーについて

暗号資産販売所を運営するブロックチェーン戦略の中核子会社
来期の単月黒字化を目指しオペレーションの改善と会員獲得に注力

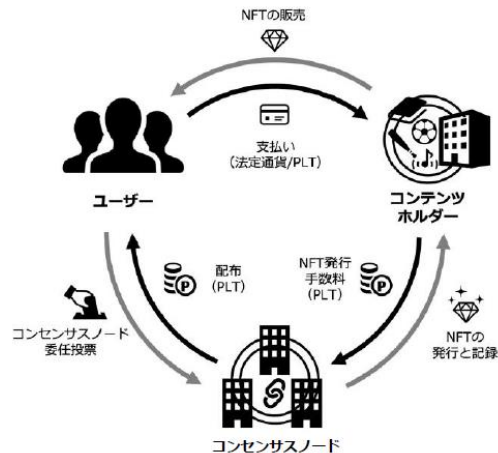


ブロックチェーン関連ビジネスについて

2021年に入ってブロックチェーンビジネスであるNFT市場が急拡大
セレス投資先が国内2大NFTプラットフォームとして存在感を高める

HushPort

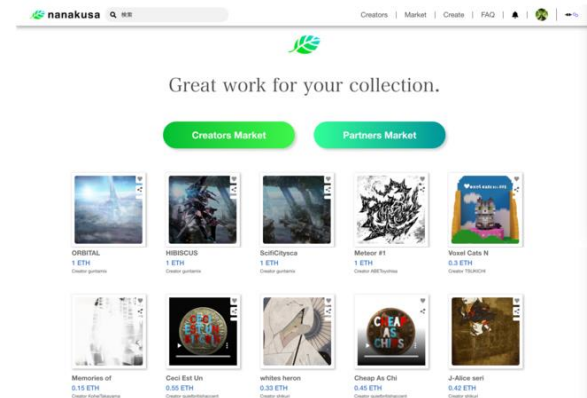
- ・新規暗号資産取扱サービスやシステム開発を展開
- ・子会社HashpaletteでNFT特化ブロックチェーン「パレット(Palette)」を開発、パレットで利用できる暗号資産「パレットトークン(PLT)」が2021年7月に国内初のIEOを実施し9.3億円を調達（時価総額約600億円規模）
- ・2021年7月に元ZOZO前澤氏より4.8億円調達



スマートアプリ

- ・暗号資産ウォレットアプリ「GO!WALLET」やブロックチェーンプラットフォーム「GO BASE」を展開
- ・2021年3月にNFT発行・販売・二次流通などを備えた総合型NFTマーケットプレイス「nanakusa」をオープン
- ・2021年5月に第三者割当増資で資金調達を実施

 nanakusa



※ NFT ブロックチェーン技術を用いて発行される等価交換できないデジタルトークン
※ IEO デジタルトークンを発行・販売して資金を調達するイニシャル・イクスチェンジ・オファリングのこと



D2C・ブロックチェーン関連を中心にセレスとの協業を前提に投資
 6月にWaqooがマザーズ上場・上場株式と回収額の合計は総投資額を上回る

(2021年6月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連

フィナンシャルサービスと連携

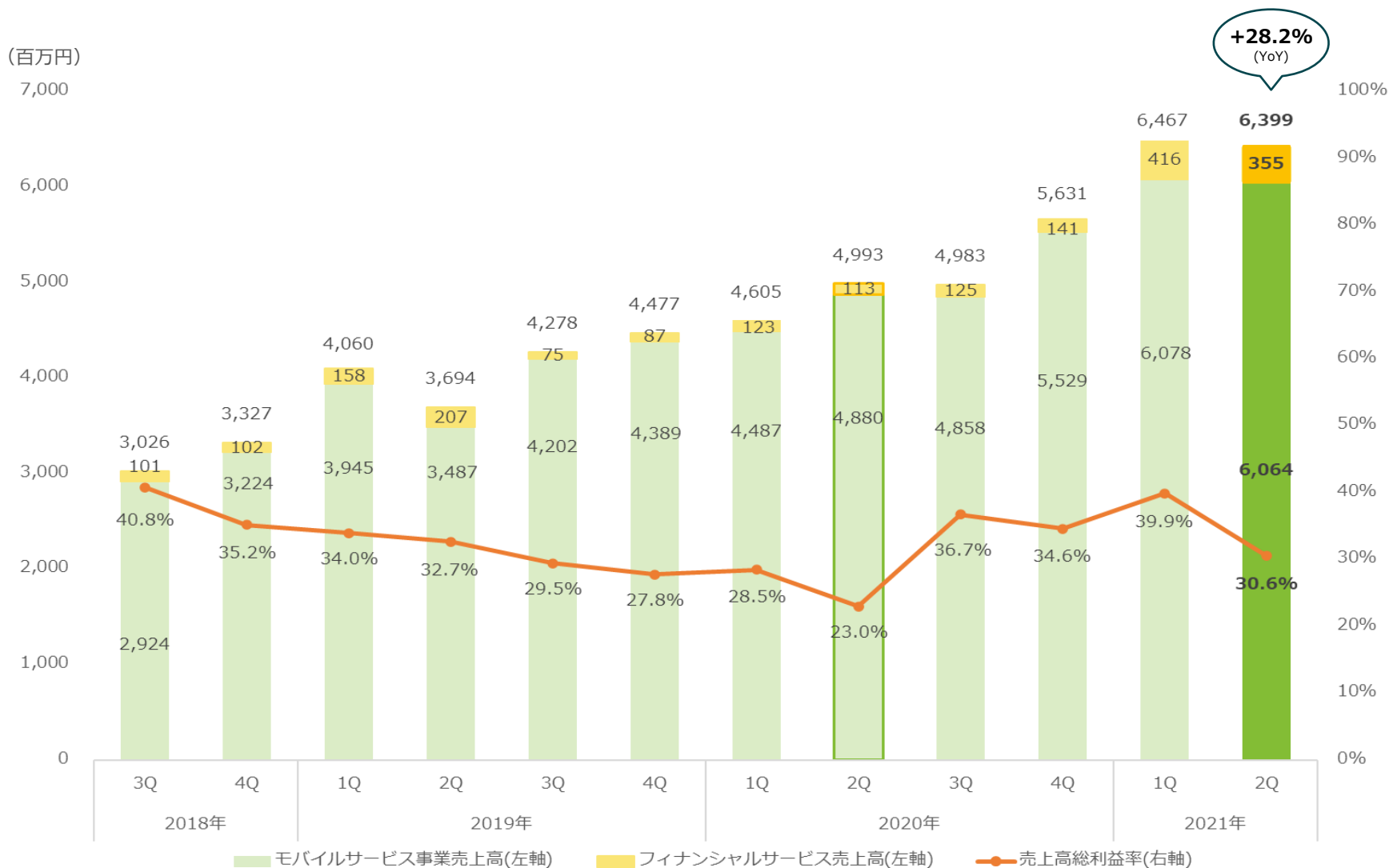
フィンテック・ブロックチェーン関連



4. APPENDIX

※ 集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していました数字を修正しています。

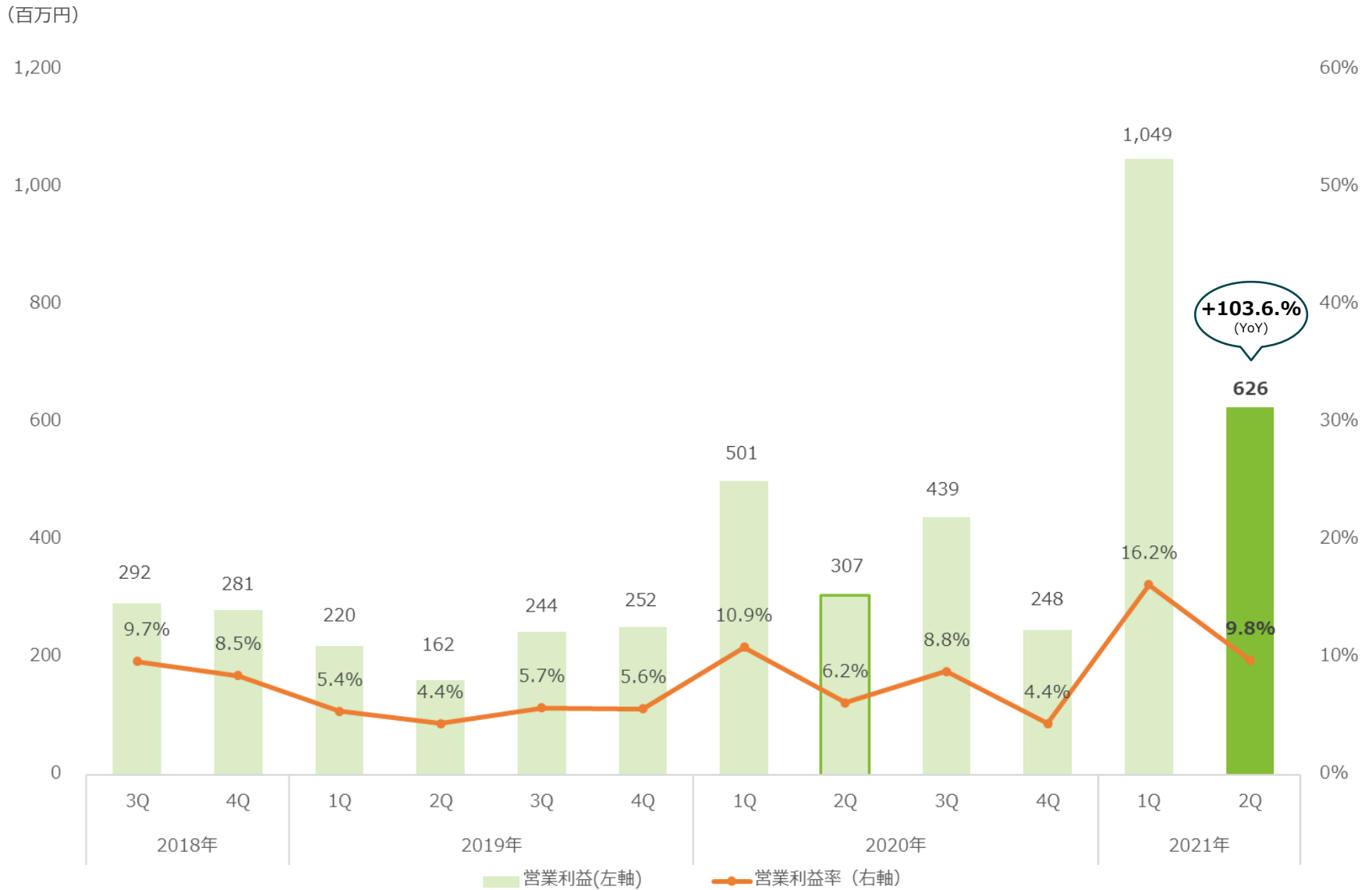
四半期売上高推移



※ セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

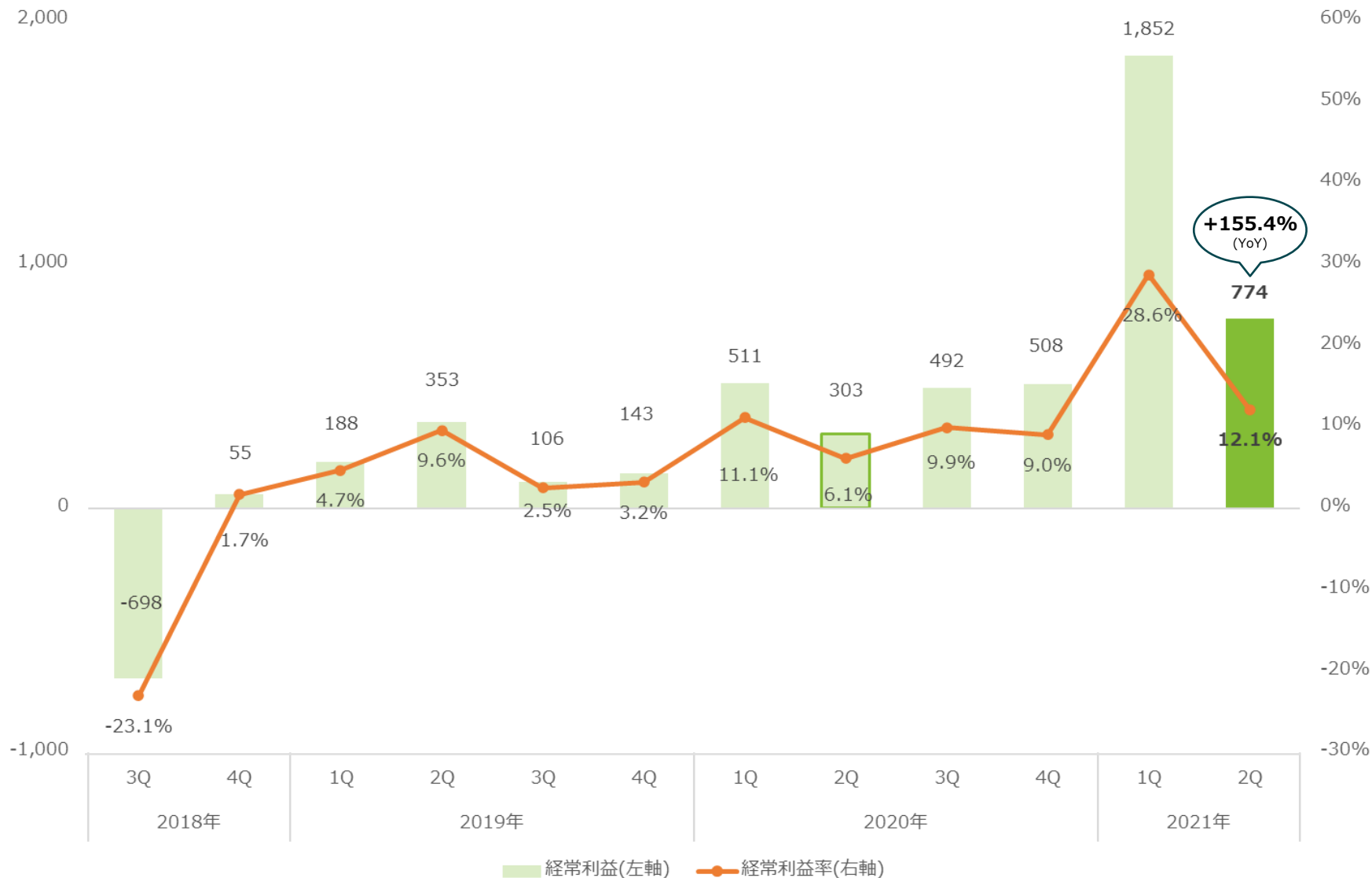
※ 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

四半期営業利益推移



四半期経常損益推移

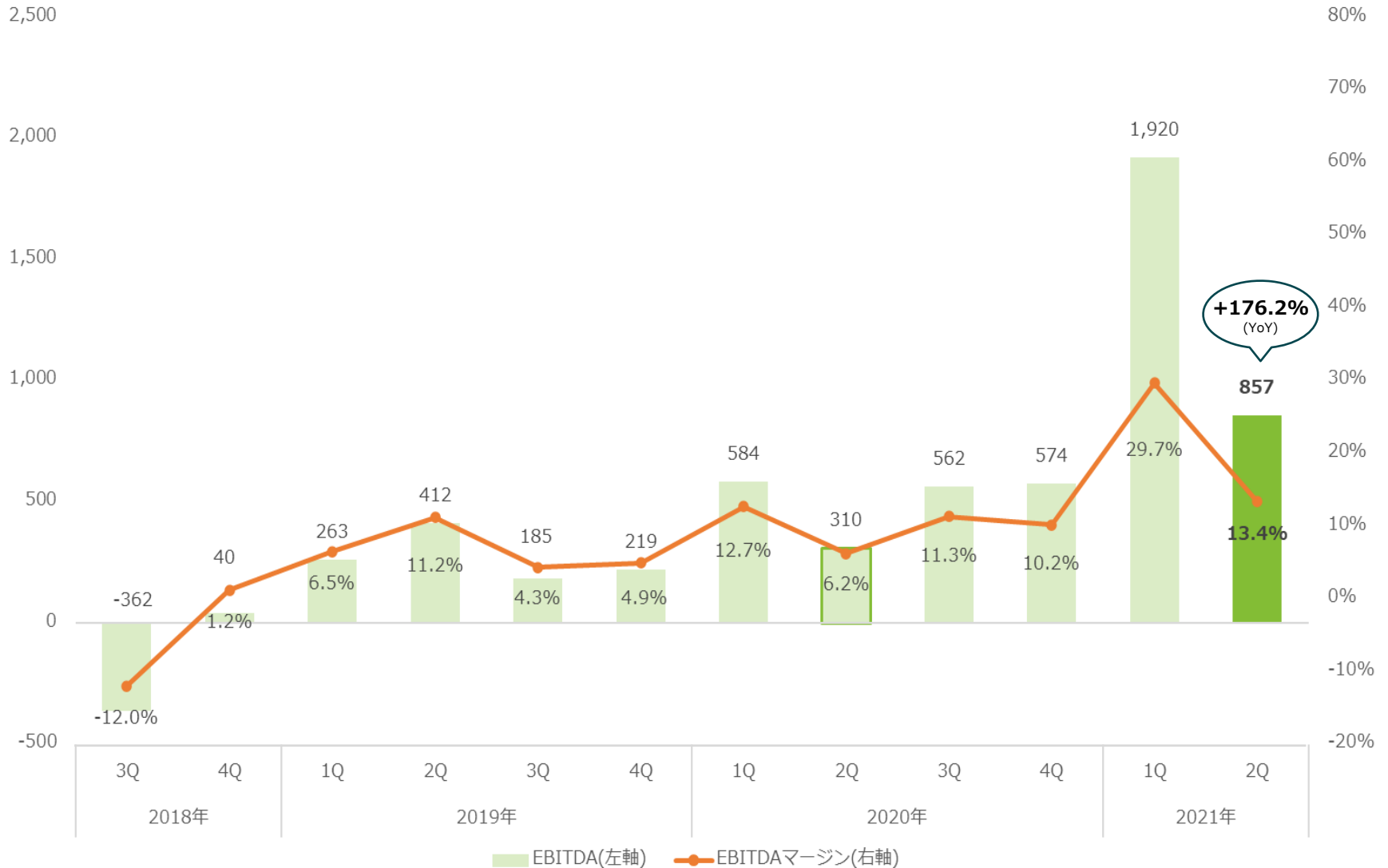
(百万円)



※ 2018年以前の経常損益の数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

四半期EBITDA推移

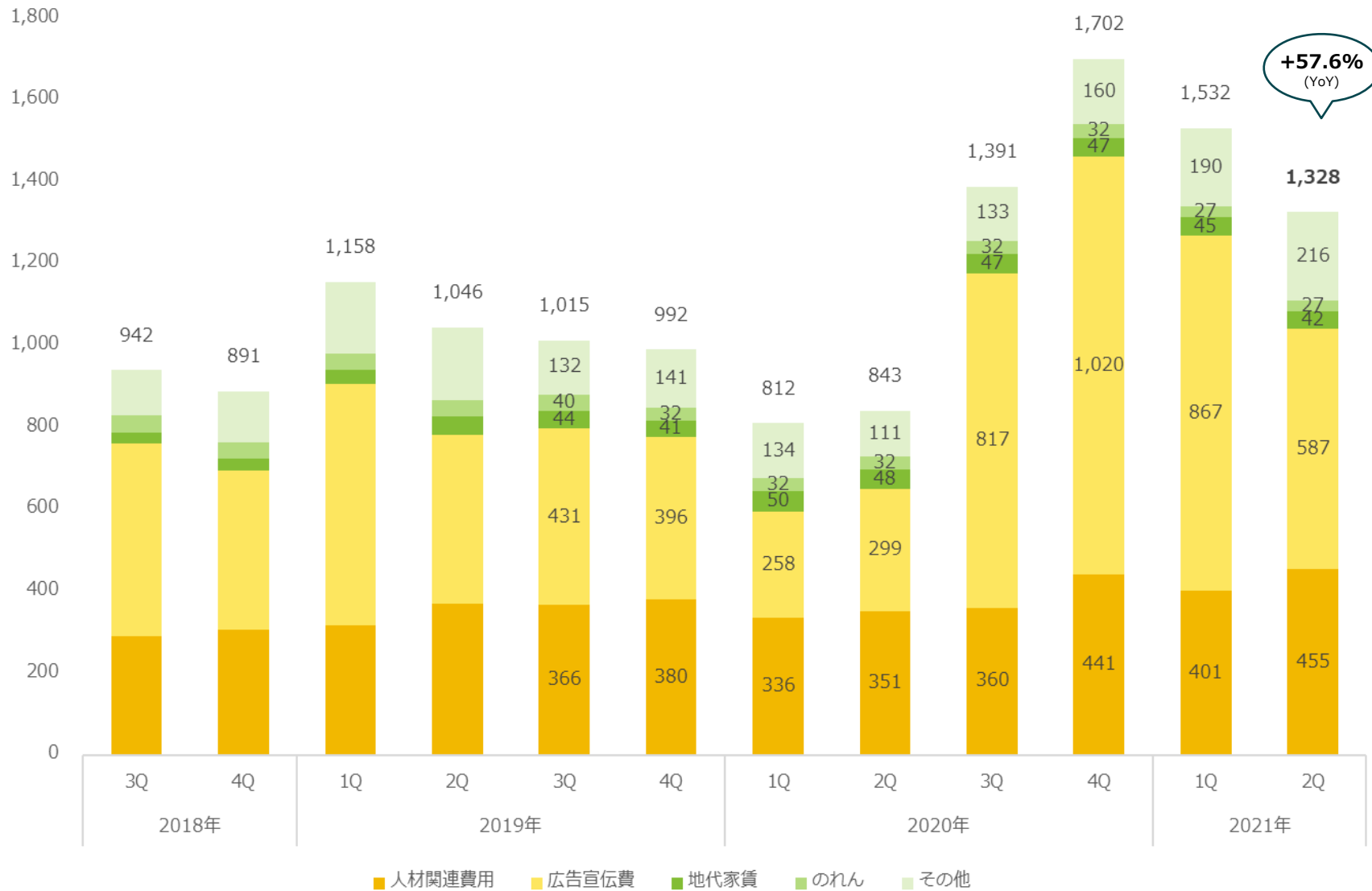
(百万円)



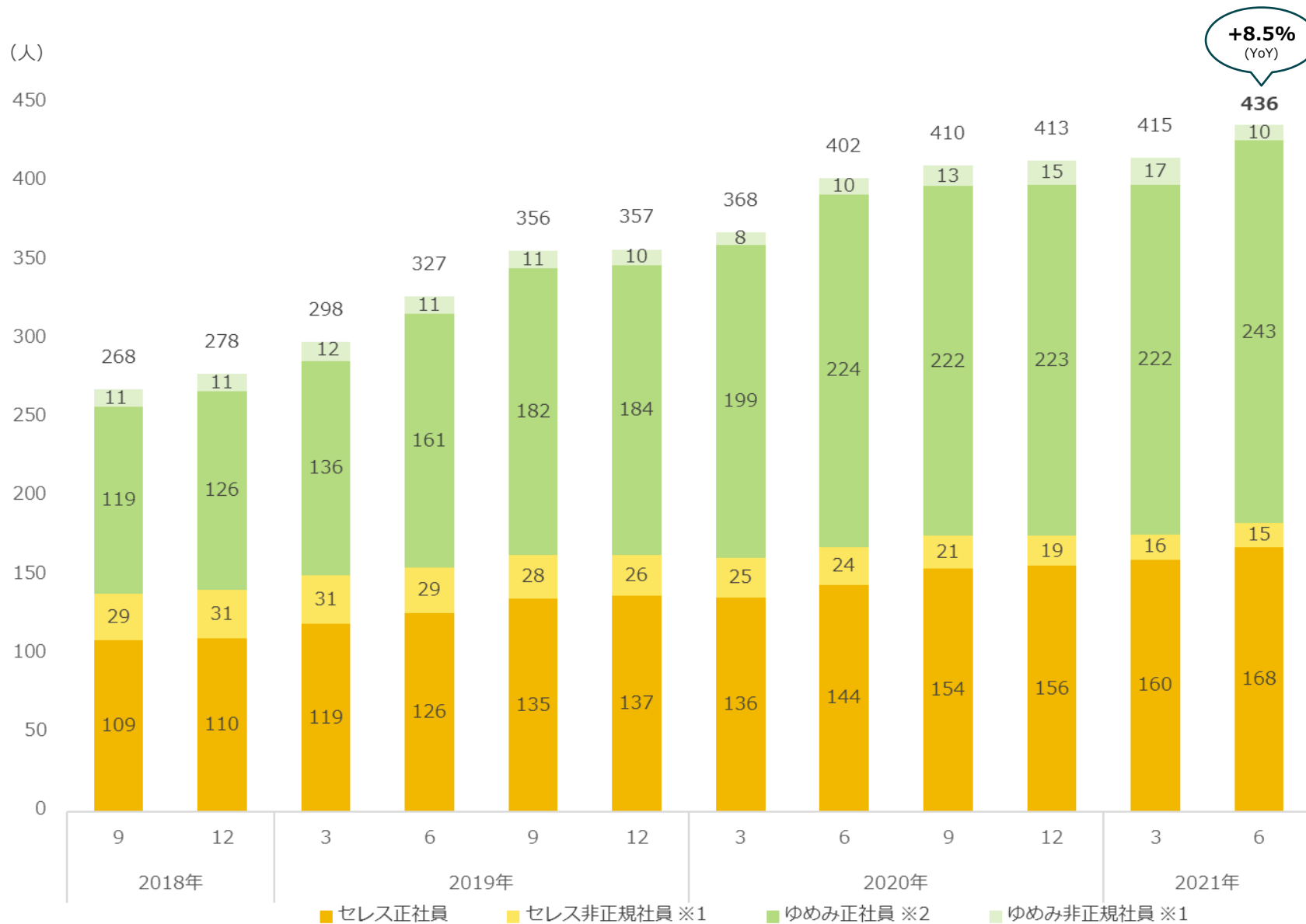
※ 2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)



従業員数推移



※1 契約社員、派遣社員、アルバイト ※2 2020年3月末より、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。

業績ハイライト

四半期売上高

(単位：百万円)	2019年		2020年				2021年	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,278	4,477	4,605	4,993	4,983	5,631	6,467	6,399
モバイルサービス事業	4,202	4,389	4,487	4,880	4,858	5,529	6,078	6,064
ポイントメディア	1,269	1,470	1,711	1,268	1,192	1,592	2,405	2,367
アフィリエイトプログラム	1,597	1,514	1,735	2,495	1,887	1,934	1,722	1,874
コンテンツメディア※1	598	532	335	383	990	1,110	1,201	862
ゆめみ	737	872	704	732	788	893	833	1,035
セグメント内の振替高※2	-	-	-	-	-	-	-84	-74
フィナンシャルサービス事業※1	75	87	123	113	125	141	416	355
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-6	-1	-0	-40	-27	-20

四半期営業利益

(単位：百万円)	2019年		2020年				2021年	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業利益	244	252	501	307	439	248	1,049	626
モバイルサービス事業※1	458	582	690	534	670	557	1,231	698
フィナンシャルサービス事業※1	-26	-111	3	-33	-3	-85	59	140
調整額	-187	-218	-192	-193	-227	-223	-242	-213

※1 2021年1Qより「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

※2 モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。